

遠野市教育委員会の権限に属する
事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価報告書
(令和2年度実施事業)



遠野市教育委員会関係機関 共通ロゴマーク
(平成27年7月10日制定)

令和3年11月
遠野市教育委員会

目 次

I	はじめに	1
II	教育委員会の活動	2
1	遠野市教育委員会の構成	2
2	教育委員会の会議の招集状況	2
3	教育委員会の会議の審議及び協議の状況	2
(1)	教育委員会定例会及び臨時会	2
(2)	総合教育会議	6
4	教育委員会の会議以外の活動状況	7
III	教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況と点検・評価の結果	12
1	ふるさと教育の推進	15
(1)	就学前教育の充実	15
(2)	学校教育の充実	18
(3)	高等学校への支援	33
2	生涯学習の推進	34
(1)	社会教育の充実	34
(2)	芸術文化活動の推進	38
3	ふるさとの文化の継承・創造	39
(1)	郷土文化の保存と活用	39
(2)	文化財の保護と継承	42
(3)	郷土の文化を生かした地域創生	45
4	健康づくりの推進	50
(1)	健康づくり活動の推進	50
5	子育て支援の推進	53
(1)	少子化対策・子育て支援	53
IV	外部評価の実施	59

【資料】

資料 No. 1-1 第2次遠野市総合計画前期基本計画
令和2年度 まちづくり指標 実績概要

資料 No. 1-2 第2次遠野市総合計画前期基本計画
令和2年度 教育関連まちづくり指標実績

掲載事務事業一覧

ページ	基本方針	方向	展開	事業費の名称	担当課
15	1	(1)	②	わらすっこの療育支援事業費	こども政策課
16	1	(1)	②	保育所等運営事業費（保育所運営委託）	こども政策課
17	1	(1)	②	保育所等運営事業費（保育所設置者運営）	こども政策課
17	1	(1)	②	幼稚園応援事業費	こども政策課
18	1	(2)	①	体育・文化行事奨励費	学校教育課
19	1	(2)	①	外国語指導助手招へい事業費	学校教育課
19	1	(2)	①	特色ある学校づくり事業費	学校教育課
20	1	(2)	①	令和・南部藩寺子屋交流事業費	学校教育課
20	1	(2)	①	特別支援教育推進事業費	学校教育課
21	1	(2)	①	遠野わらすっこ「夢の教室」事業費	学校教育課
21	1	(2)	①	学力向上対策事業費	学校教育課
22	1	(2)	①	特定教科集中対策事業費	学校教育課
23	1	(2)	②	小学校管理費（繰越明許費）	総務企画部管財担当
24	1	(2)	②	小学校管理費	総務企画部管財担当
24	1	(2)	②	小学校体育館大規模改造整備事業費（繰越明許費）	総務企画部管財担当
25	1	(2)	②	通学対策費（小学校）	学校教育課
26	1	(2)	②	教材整備費（小学校）	学校教育課
26	1	(2)	②	就学援助費（小学校）	学校教育課
27	1	(2)	②	G I G Aスクール環境整備事業費(小学校/繰越明許費)	学校教育課
27	1	(2)	②	G I G Aスクール環境整備事業費（小学校）	学校教育課
27	1	(2)	②	中学校管理費（繰越明許費）	総務企画部管財担当
28	1	(2)	②	中学校管理費	総務企画部管財担当
28	1	(2)	②	通学対策費（中学校）	学校教育課
29	1	(2)	②	教材整備費（中学校）	学校教育課
30	1	(2)	②	就学援助費（中学校）	学校教育課
30	1	(2)	②	G I G Aスクール環境整備事業費(中学校/繰越明許費)	学校教育課
30	1	(2)	②	G I G Aスクール環境整備事業費（中学校）	学校教育課
31	1	(2)	②	新型コロナウイルス感染症予防対策事業費	学校教育課
32	1	(2)	③	学校給食事業費	学校給食センター
32	1	(2)	③	新型コロナウイルス感染症予防対策事業費	学校給食センター
33	1	(3)	①	高校魅力化サポート事業費	学校教育課
34	1	(3)	①	育英事業費	学校教育課
35	2	(1)	①	学びのまちづくり推進事業費	生涯学習スポーツ課
36	2	(1)	②	地域教育文化振興事業費	生涯学習スポーツ課

ページ	基本方針	方向	展開	事業費の名称	担当課
36	2	(1)	③	若者と女性の活躍推進事業費	生涯学習スポーツ課
37	2	(1)	④	高齢者元気アップ活動事業費	生涯学習スポーツ課
37	2	(1)	⑤	青少年健全育成活動事業費	生涯学習スポーツ課
38	2	(1)	⑤	新型コロナウイルス感染症予防対策事業費 (成人式オンライン配信事業)	生涯学習スポーツ課
38	2	(2)	①	芸術文化振興事業費	生涯学習スポーツ課
39	3	(1)	①	博物館費	文化課
40	3	(1)	①	博物館映像等整備事業費	文化課
40	3	(1)	②	図書館活動事業費	文化課
42	3	(2)	①	文化財調査保護費	文化課
43	3	(2)	①	埋蔵文化財発掘調査費	文化課
43	3	(2)	①	重要文化財千葉家住宅整備事業費	文化課
44	3	(2)	①	文化的景観保存事業費	文化課
44	3	(2)	③	遠野遺産認定事業費	文化課
45	3	(3)	①	遠野文化調査研究費	文化課
46	3	(3)	②	遠野物語発刊 110 周年事業費	文化課
47	3	(3)	②	こども本の森構想推進事業費	こども本の森運営企画室
48	3	(3)	③	「遠野市史」編さん事業費	文化課
49	3	(1)	① ②	新型コロナウイルス感染症予防対策事業費 (感染症予防物品購入(図書消毒器)) (市立図書館・博物館サーモグラフィ検温器購入)	文化課
50	4	(1)	①	健康スポーツプログラム推進事業費	生涯学習スポーツ課
50	4	(1)	①	子どもの体カづくりプログラム推進事業費	生涯学習スポーツ課
51	4	(1)	②	競技・イベントスポーツプログラム推進事業費	生涯学習スポーツ課
51	4	(1)	②	先導的共生社会ホストタウン推進事業費	パラリンピック推進室
52	4	(1)	③	ばすぼる推進事業費	学校給食センター
53	5	(1)	①	看護保育安心サポート事業費	こども政策課
54	5	(1)	①	わらすっこの居場所事業費	こども政策課
54	5	(1)	①	みんなで応援子育てのまち推進事業費	こども政策課
55	5	(1)	①	ファミリー・サポート・センター推進事業費	こども政策課
56	5	(1)	②	未来へつなぐこども家庭支援事業費	こども政策課
56	5	(1)	②	子育て家庭ヘルパー派遣事業費	こども政策課
57	5	(1)	②	児童館施設整備事業費	こども政策課
57	5	(1)	②	新型コロナウイルス感染症予防対策事業費 (子育て施設ヘルパー派遣) (児童館等衛生環境整備)	こども政策課
58	5	(1)	②	新型コロナウイルス感染症予防対策事業費 (元気わらすっこセンターサーモグラフィ検温器購入) (保育施設等衛生環境整備・感染症対策)	こども政策課

I はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第 162号）第26条第 1 項の規定に基づき、すべての教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について毎年点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。

また、この点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

この報告書は、遠野市教育委員会（一部の事業にあつては、首長部局）が令和2年度に実施した施策、事業等の管理及び執行の状況を、第2期 遠野市教育振興基本計画（計画年度：平成28年度から令和7年度まで）の施策体系ごとにまとめ、点検及び評価を実施し、その結果を公表するものです。

さらに附属資料として、第2次遠野市総合計画 前期基本計画のまちづくり指標に関する実績資料を添付しています。

II 教育委員会の活動

1 遠野市教育委員会の構成

(令和3年11月1日現在)

職名	氏名	任期
教育長	菊池 広親	平成31年4月1日から令和4年3月31日まで
委員 (教育長職務代理者)	菊池 崇	令和2年4月1日から令和6年3月31日まで
委員	千田 由美子	令和元年11月26日から令和5年11月25日まで
委員	菊池 和子	平成30年11月26日から令和4年11月25日まで
委員	藤山 重理子	令和2年11月26日から令和6年11月25日まで

2 教育委員会の会議の招集状況

令和2年度は、定例会を毎月1回(計12回)、臨時会を11月、2月、3月(計3回)、定例会と臨時会を合計15回招集・開催しました。

3 教育委員会の会議の審議及び協議の状況

(1) 教育委員会定例会及び臨時会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第25条及び遠野市教育長に対する事務委任規則(平成17年遠野市教育委員会規則第7号)第2条に規定する事項のうち、令和2年度に教育委員会定例会及び臨時会において審議した案件は、31件です。

【議案の性質別件数】

分類	項目	件数
1	教育行政の運営に関する基本方針を定めること	1
2	教育委員会の規則及び訓令の制定又は改廃に関する事	10
3	学校その他の教育機関の施設、設備、組織編制、教育課程、教材の取扱いその他管理運営の基本方針を定めること	4
4	教育事務に係る議会の議決を経るべき議案について意見を申し出ること	4

5	職員の人事異動の方針を定めること	1
6	職員の分限、懲戒、任免、給与その他の人事を行うこと（県費負担教職員の任免その他の進退に関する内申を含む。）	3
7	附属機関の委員の任免に関すること	5
8	文化財の指定及び解除並びに修理又は復旧の勧告及び現状変更の許可に関すること	1
9	表彰に関すること	1
10	教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検及び評価に関すること	1
計		31

【令和2年度 教育委員会会議 提出議案一覧】

議案番号	件名	提出日	決議	分類
令和2年4月定例会（第1回 / 4月22日(水)開催）				
10	遠野市就学指導委員会委員の委嘱及び任命の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	令和2年4月22日	承認	7
11	遠野市奨学生選考委員会委員の委嘱の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	令和2年4月22日	承認	7
令和2年5月定例会（第2回 / 5月27日(水)開催）				
12	遠野市民センター運営協議会委員の委嘱及び任命に関し議決を求めることについて	令和2年5月27日	可決	7
13	遠野市就学指導委員会委員の委嘱の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	令和2年5月27日	承認	7
令和2年6月定例会（第3回 / 6月25日(水)開催）				
14	遠野市教育研究所条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	令和2年6月25日	可決	2
令和2年7月定例会（第4回 / 7月31日(金)開催）				
15	遠野市立学校の教育職員の業務量の適切な管理のための措置等に関する規則の制定について	令和2年7月31日	可決	2
16	令和3年度使用小学校教科用図書採択に関し議決を求めることについて	令和2年7月31日	可決	3

議案 番号	件 名	提出日	決議	分類
令和2年7月定例会（第4回 / 7月31日(金)開催）				
17	令和3年度使用中学校教科用図書の採択に関し 議決を求めることについて	令和2年 7月31日	可決	3
18	令和2年度遠野市教育委員会表彰の受賞者に関 し議決を求めることについて	令和2年 7月31日	可決	9
令和2年8月定例会（第5回 8月19日(水)開催）				
19	教育事務に係る議会の議決を経るべき議案に関 する意見の申出について（公の施設の指定管理 者の指定について）	令和2年 8月19日	可決	4
令和2年9月定例会（第6回 / 9月23日(水)開催）				
20	遠野市指定天然記念物の指定に関し議決を求め ることについて	令和2年 9月23日	可決	8
令和2年10月定例会（第7回 / 10月23日(金)開催） * 議案審議なし				
令和2年11月臨時会（第8回 / 11月20日(金)開催）				
21	教育事務に係る議会の議決を経るべき議案に関 する意見の申出について（第2次遠野市総合計 画後期基本計画の策定について）	令和2年 11月20日	可決	4
22	教育事務に係る議会の議決を経るべき議案に関 する意見の申出について（公の施設の指定管理 者の指定について）	令和2年 11月20日	可決	4
令和2年11月定例会（第9回 / 11月27日(金)開催）				
23	令和3年度遠野市立小中学校教職員定期人事異 動方針に関し議決を求めることについて	令和2年 11月27日	可決	5
令和2年12月定例会（第10回 / 12月23日(水)開催） * 議案審議なし				
令和3年1月定例会（第11回 / 1月22日(金)開催）				
1	職員の分限処分に関し議決を求めることについ て	令和3年 1月22日	継続 審議	6
令和3年2月定例会（第12回 / 2月9日(火)開催）				
1	職員の分限処分に関し議決を求めることについ て（継続審議議案）	令和3年 2月9日	可決	6
2	令和3年度遠野市教育行政推進の基本方針に関 し議決を求めることについて	令和3年 2月9日	可決	1
3	教育事務に係る議会の議決を経るべき議案に関 する意見の申出について（令和3年度遠野市一 般会計予算について）	令和3年 2月9日	可決	4
4	遠野市学校施設庁寿命化計画の策定について	令和3年 2月9日	可決	3

議案 番号	件 名	提出日	決議	分類
令和3年2月臨時会（第13回 / 2月26日（金）開催）				
5	遠野市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検及び評価に関し議決を求めることについて	令和3年 2月26日	可決	10
6	令和3年度学校給食費の額の決定に関し議決を求めることについて	令和3年 2月26日	可決	3
7	令和3年度教職員定期人事異動の内申に関し議決を求めることについて	令和3年 2月26日	可決	6
令和3年3月臨時会（第14回 / 3月18日（木）開催）				
8	教育委員会事務局職員等の人事に関し議決を求めることについて	令和3年 3月18日	可決	6
令和3年3月定例会（第15回 / 3月23日（火）開催）				
9	遠野市立小中学校管理運営規則の一部を改正する規則の制定について	令和3年 3月23日	可決	2
10	遠野市教育長の権限に属する事務の委任に関する規定の一部を改正する訓令の制定について	令和3年 3月23日	可決	2
11	遠野市教育委員会公印規定の一部を改正する訓令の制定について	令和3年 3月23日	可決	2
12	遠野市教育委員会安全衛生管理規定の一部を改正する訓令の制定について	令和3年 3月23日	可決	2
13	遠野市立小中学校において使用する表簿の様式を定める規程の一部を改正する訓令の制定について	令和3年 3月23日	可決	2
14	遠野市教育委員会行政組織規則の一部を改正する等の規則の制定について	令和3年 3月23日	可決	2
15	遠野市教育委員会専決代決規定等の一部を改正する訓令の制定について	令和3年 3月23日	可決	2
16	遠野市立学校情報セキュリティ対策基準の制定に関し議決を求めることについて	令和3年 3月23日	可決	2
17	遠野市文化財保護審議会委員の委嘱に関し議決を求めることについて	令和3年 3月23日	可決	7

(2) 総合教育会議

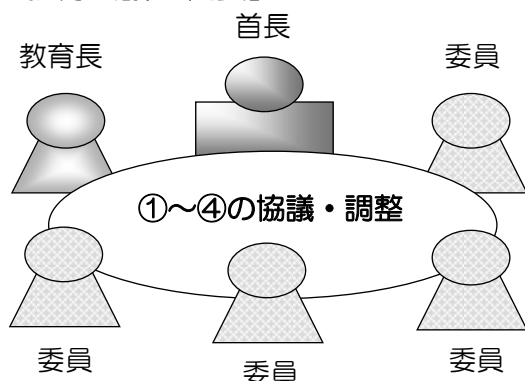
地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正（平成27年4月1日施行）により、首長は、首長及び教育委員会で構成する「総合教育会議」を設けることとされています。

総合教育会議は、首長と教育委員会とが、対等な執行機関として相互の十分な意思疎通を図るため、下の図に掲げる協議や調整を行い、地域における教育に関する課題やあるべき姿を共有することにより、より一層の民意を反映した教育行政を推進することを目的としています。

令和2年度は2回招集され、以下の内容に関する協議が行われました。

開催期日等	協議内容
第1回 令和2年5月27日	(1) G I G Aスクール環境事業について (2) こども本の森構想について (3) 児童の放課後の居場所について
第2回 令和2年10月26日	(1) 第2次遠野市総合計画後期基本計画案（教育委員会及び子育て関連）について

【総合教育会議の概要】



※ 市長の諮問を受けて調査・研究・審議を行う「附属機関」には当たらないとされている。

- 首長が招集する。
- 会議は原則として公開する。
- 構成員は首長と教育委員会。
(必要に応じて、意見聴取者の出席を要請する。)

- 「協議」とは・・・
幅広く行われる、首長と教育委員会相互の自由な意見交換。
- 「調整」とは・・・
教育委員会の権限に属する事務と、首長の権限に属する事務の調和を図ること。

- ① 教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱の策定に関する協議
- ② 教育を行うための諸条件の整備その他の地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき施策についての協議
- ③ 児童、生徒等の生命又は身体に現に被害が生じ、又はまさに被害が生ずるおそれがあると見込まれる場合等の緊急の場合に講ずべき措置についての協議
- ④ ①から③までの事項に関する構成員の事務の調整

- 首長が教育行政に果たす責任や役割を明確にするとともに、
首長が公の場で教育政策について議論することが可能に
- 首長と教育委員会が上記①～④の協議・調整を行うことにより、
両者が教育政策の方向性を共有し、一致して事務の執行に当たることが可能に

4 教育委員会の会議以外の活動状況

教育委員会の構成員（教育長及び教育委員）は、上記に掲げる会議のほか、以下のとおり各種行事、会議等に出席しました。

【遠野市議会】（教育長のみ）

月	会議名等
4月	本会議（臨時会） 予算等審査特別委員会、議員全員協議会
6月	本会議、予算等審査特別委員会、議員全員協議会
7月	本会議（臨時会）、議員全員協議会
8月	本会議、議員全員協議会
9月	本会議、予算等審査特別委員会、決算特別委員会
11月	本会議（臨時会）、議員全員協議会
12月	本会議、予算等審査特別委員会、議員全員協議会、本会議（臨時会）
2月	本会議（臨時会）、議員全員協議会、本会議
3月	本会議、予算等審査特別委員会、議員全員協議会、本会議（臨時会）

【学校訪問】

月	行事名等
6月	学校懇談会（綾織小学校）
9月	学校公開研究会（上郷小学校） 学校懇談会（遠野東中学校） 学校公開研究会（遠野中学校）
10月	学校公開研究会（鱒沢小学校） 学校懇談会（小友小学校）

【各種行事、会議等】（教育長、教育委員が出席したものを列記）

月	行事名等
4月	令和2年4月1日付け教育委員会事務局定期人事異動辞令交付式 新採用教職員辞令交付式 遠野市立小中学校転入教職員等着任式 特別支援教育支援員研修会・特定教科支援員研修会 小学校入学式、中学校入学式 新型コロナウイルス感染症対策本部会議（第1～5回） 第1回市内小中学校長・副校長会議 小中学校副校長・事務担当者会議 遠野市校長会定期総会

月	行 事 名 等
4 月	遠野市学校保健会定期総会 特別支援コーディネーター連絡会議 管内教育長会議 臨時市内小中校長会議（第1回） 遠野市教育研究所運営委員会 遠野市奨学生選考委員会 遠野市教育委員会定例会（4月） 令和2年度初任者研修会
5 月	新型コロナウイルス感染症対策本部会議（第6～10回） 学力向上対策会議 中部地区教科書採択協議会 公開指定校連絡協議会 遠野市交通安全対策協議会常任委員会 遠野市小中高生徒指導担当者会議 遠野市教育委員会定例会（5月） 遠野市総合教育会議 文部科学大臣表彰伝達式（青笹小学校）
6 月	遠野市議会議員全員協議会 遠野市校長会研修会 遠野まつり臨時実行委員会 新型コロナウイルス感染症対策本部会議（第11回） 遠野市議会6月定例会 第36回遠野市中学校春季野球大会開会式 生徒指導主事会議 遠野市総合計画審議会 遠野市教育委員会定例会（6月） 学校懇談会（綾織小学校） 市内小中学校長会議（第2回） 市民センター運営協議会
7 月	中部地区教科書採択協議会 新編遠野市史現代編刊行記念式 新型コロナウイルス感染症対策本部会議（第12～13回） 第1回教職員の多忙・負担軽減対策等検討会議 遠野市教育研究所ICT教育部会（第1回） 遠野市議会議員全員協議会 / 市議会臨時会本会議 遠野市教育委員会定例会（7月） 岩手県への統一要望 遠野市教育研究所全体研修会

月	行 事 名 等
8月	遠野市名誉市民墓参 遠野市文化財保護審議会 遠野市総合計画審議会 小友ベアーズ野球スポーツ少年団県大会優勝報告会 新型コロナウイルス感染症対策本部会議（第14～18回） 特別支援教育支援員研修会 遠野市教育委員会定例会（8月） 遠野市防災会議 第34回遠野市少年消防クラブ防火野球大会 遠野市議会議員全員協議会 市内小中学校長会議（第3回） 教職員初任者研修会
9月	遠野市議会9月定例会 遠野市教育研究所キャリア教育部会（第1回） 学校公開研究会（上郷小学校） 遠野市中中学校新人大会 遠野市教育委員定例会（9月） 学校懇談会（遠野東中学校） 学校公開研究会（遠野中学校） 市内小学校陸上記録会 教育委員会永年勤続功労者表彰式
10月	市制施行15周年記念功労者表彰式・市民栄誉賞表彰式 遠野市いじめ問題対策委員会 第2回教職員の多忙・負担軽減対策等検討会議 どんぐり・花を育てよう！in遠野 市内小中学校長会議（第4回） 上琴畑湿原指定書交付式 遠野市総合計画審議会 学校公開研究会（鱒沢小学校） 遠野市就学指導委員会 遠野市小学校音楽祭 東北都市教育長協議会役員会（オンライン会議） 遠野市教育委員会定例会（10月） 学校懇談会（小友小学校） 遠野市総合教育会議（第2回） 遠野市教育研究所キャリア教育部会（第2回） いわて教育の日のつどい 岩手県市町村教育委員会協議会教育長部会 県教育委員会と市町村教育委員会との意見交換

月	行 事 名 等
11月	遠野市総合計画審議会 管内教育長・校長会議 教職員の多忙・負担軽減対策等に係る衛生推進者会議 遠野北小学校創立50周年記念式典 遠野市生徒指導推進協議会（第2回） 「こども本の森」起工式 遠野市議会臨時会 遠野市就学指導委員会 教育研究所運営委員会 新型コロナウイルス感染症対策本部会議（第19回） 遠野高校サッカー部/第99回全国高校サッカー選手権県大会優勝報告会 遠野市教育委員会臨時会 遠野市議会議員全員協議会 学力向上研究員部会 高校再編を考える市民会議総会 教育委員感謝状贈呈式・辞令交付式 遠野市教育委員会定例会（11月）・土淵小学校校舎等視察 市内小中学校校長会議（第5回）
12月	遠野市議会12月定例会 遠野物語ファンタジー旗揚げ会 遠野緑峰高校情報処理科寄附採納式 遠野市議会議員全員協議会 遠野市教育委員会定例会（12月） 叙位伝達式 遠野市議会臨時会 新型コロナウイルス感染症対策本部会議（第20回）
1月	仕事始めの式 遠野市民新年交賀会 新型コロナウイルス感染症対策本部会議（第21・22回） 消防出初式 成人式「はたちのつどい」 遠野市就学指導委員会（第4回） 遠野市教育研究所教育研究発表会 国指定重要文化財千葉家住宅保存活用委員会 地域で子どもを育てる学習発表会 遠野市教育委員会定例会（1月） 遠野文化遺産セッション 岩手県立遠野緑峰高等学校「校内プロジェクト」発表会 共生社会フォーラムinとおの

月	行 事 名 等
2月	環境・科学研究発表会運営委員会 管内教育長会議 市内小中学校環境・科学研究発表会 遠野市教育委員会定例会（2月） 新型コロナウイルス感染症対策本部会議（第23回） 遠野市議会臨時会 遠野市教育文化振興財団及び体育協会顕彰・栄賞表彰式 遠野市教育研究所学力向上対策会議 遠野市いじめ問題対策委員会 遠野市総合食育センター運営審議会 遠野市議会議員全員協議会 遠野市教育委員会事務の管理及び執行の状況の外部評価会議 市内小中学校長会議（第6回） 遠野市議会3月定例会 教務主任会議 遠野市教育研究所運営委員会 岩手県立遠野高等学校「新しい遠野物語を創るプロジェクト」発表会 全国高校駅伝出場報告会 遠野市教育委員会臨時会 プレGIGAスクールキックオフミーティング
3月	GIGAスクールキックオフミーティング 遠野市防災の集い 市内中学校卒業証書授与式 市内小学校卒業証書授与式 こども本の森構想懇談会 遠野市教育委員会臨時会 遠野文化研究センター10周年記念イベント 遠野まつり実行委員会総会 新型コロナウイルス感染症対策本部会議（第24・25回） 教職員退職・市外転出者への辞令交付式 遠野市教育委員会定例会（3月） 遠野市総合計画審議会 遠野市議会議員全員協議会 遠野市議会臨時会 教育委員会退職者等辞令交付式

Ⅲ 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況と点検・評価の結果

令和2年度において、遠野市教育委員会は、

- ・第2次 遠野市総合計画 前期基本計画（計画期間：平成28年度～令和2年度）
- ・第2期 遠野市教育振興基本計画（計画期間：平成28年度～令和7年度）

に基づき、教育行政を推進しました。

第2次 遠野市総合計画前期基本計画において教育委員会は、下図に示す2つの大綱及び5つの政策にかかわっています。

【第2次遠野市総合計画 前期基本計画 体系図】

○ 基本理念 「遠野スタイルの創造・発展」

○ 将来像 「永遠の日本のふるさと遠野」

大綱	政策	施策
1 自然を愛し共生するまちづくり	1 自然と共生する環境づくり 2 快適な居住環境の形成 3 道路交通基盤の充実 4 安心安全な地域づくり	
2 健やかに人が輝くまちづくり	1 健康づくりの推進	1 健康づくり活動の推進 2 医療体制の充実
	2 地域福祉の充実	
	3 子育て支援の推進	1 少子化対策・子育て支援 2 児童・母子等福祉の充実
3 活力を創意で築くまちづくり	1 農畜林業の振興 2 商工業の振興 3 観光と交流のまちづくり	
4 ふるさとの文化を育むまちづくり	1 ふるさと教育の推進	1 就学前教育の充実 2 学校教育の充実
	2 生涯学習の推進	1 社会教育の充実 2 芸術文化活動の推進
	3 ふるさとの文化の継承・創造	1 郷土文化の保存と活用 2 文化財の保護と継承 3 郷土の文化を生かした地域創造
5 みんなで考え支えあうまちづくり	1 住民主体のふるさとづくり 2 行財政基盤の強化 3 行政サービスの向上	

また、第2期 遠野市教育振興基本計画においては、5つの基本方針と、基本方針を推進するための施策の方向及び展開を明確化し、これらに沿って各種の具体的事業を実施し、教育行政を推進しました。

【第2期 遠野市教育振興基本計画 体系図】

○ 基本理念

「ふるさとの文化を生かし、「夢」と「誇り」を育む学びのまちづくり」

基本方針	施策の方向	施策の展開
1 ふるさと教育の推進	(1) 就学前教育の充実	①家庭や地域での教育 ②教育・保育の充実
	(2) 学校教育の充実	①教育内容の充実 ②教育環境の充実 ③学校給食の充実 ④学校と家庭、地域との連携の充実
	(3) 高等学校への支援	①魅力ある高校づくり応援事業の推進
2 生涯学習の推進	(1) 社会教育の充実	①総合推進体制の整備 ②家庭や地域教育の充実 ③成人教育の充実 ④高齢者教育の充実 ⑤青少年の健全育成と指導者の養成
	(2) 芸術文化活動の推進	①芸術文化団体の育成と支援 ②創作芸術文化活動の振興
3 ふるさとの文化の継承・創造	(1) 郷土文化の保存と活用	①博物館活動の推進 ②図書館活動の推進
	(2) 文化財の保護と継承	①文化財調査・保護 ②郷土芸能活動の推進 ③遠野遺産の認定と保護活動及び活用の推進
	(3) 郷土の文化を生かした地域創生	①郷土文化の調査・研究の推進 ②次世代へのふるさと文化の継承 ③市史編さん事業の推進
4 健康づくりの推進	(1) 健康づくり活動の推進	①健康づくり総合プログラムの推進 ②スポーツの振興 ③食育の推進
5 子育て支援の推進	(1) 少子化対策・子育て支援	①少子化対策・子育て支援総合プランの推進 ②子育て支援の充実

【主な事務事業の管理及び執行の状況の点検】

次の表により、令和2年度に実施した主な事務事業を、第2期 遠野市教育振興基本計画に定める「基本方針」「施策の方向」「施策の展開」ごとに区分し、その取組状況、成果及び課題を整理しました。

施策の展開に係る全体総括	「施策の展開」に基づき実施した事務事業全体の成果など、総括的事項を記載しています。
課題	「施策の展開」に基づき実施した事務事業全体の課題を記載しています。

事業費名	「令和2年度遠野市一般会計歳入歳出決算書」に記載している事業費の名称を記載しています。	令和2年度 決算額	事務事業の決算額を記載しています。(単位：円)	
令和3年度事業所管課	令和3年度における当該事務事業を所管する課の名称を記載しています。			
事業内容	事務事業の概要、取組目標等を記載しています。		評価	※
取組・成果	事務事業の実施による成果を記載しています。 (具体的な数値等による成果がある場合は、その内容についても記載しています。)			

【主な事務事業の管理及び執行の状況の評価】

担当課において、各事務事業の取組の成果について、下記により自己評価を行い、その結果（「達成」「概ね達成」「未達成」の3つの区分のうち、該当する区分）を、前表の「評価」欄（※）に記載しています。

区分	担当課による自己評価の判断
達成	事務事業の目的が十分に達成されたと考えられる場合 ※ 計画及び実績を数値により示すことができる場合は、その達成率が100パーセント以上となる場合
概ね達成	事務事業の目的が概ね達成されたと考えられる場合 ※ 計画及び実績を数値により示すことができる場合は、その達成率が90パーセント以上100パーセント未満となる場合
未達成	課題が生じた等の理由により、事務事業の目的が概ね達成されたとまではいえないと考えられる場合 ※ 計画及び実績を数値により示すことができる場合は、その達成率が90パーセント未満となる場合

※ まちづくり指標の設定がある場合は、その結果を評価欄に記載しています。

基本方針	1 ふるさと教育の推進
施策の方向	(1) 就学前教育の充実
施策の展開	② 教育・保育の充実

施策の展開に係る全体総括	<p>障がいがあり特別な支援を必要とする子どもとその保護者に対する福祉の向上を図るため、臨床心理士による出張相談・施設支援、療育支援教室（のびっこ教室、ジャンプ教室）幼児ことばの教室、難聴児補聴器購入助成、日中一時支援事業及び放課後等デイサービス事業の利用者負担助成、特別支援学校スクールバス運行事業等を実施した。</p> <p>また、就学前教育・保育環境の充実を図るため、保育所等を利用する3歳～5歳児に係る副食費の助成、保育の必要性がある教育認定子どもの利用料補助、保育所12カ所の運営委託、認定こども園2カ所、幼稚園1カ所の運営費負担、延長保育や一時保育等の特別保育の実施、社会福祉法人への運営費補助を行った。</p>
課題	<p>特別な支援が必要な児童とその保護者への支援体制の充実を図るため、療育教室、幼児ことばの教室、難聴児補聴器購入助成等の事業を着実に推進するとともに、臨床心理士による出張心理相談の実施や小学校への就学に伴う円滑な接続について関係機関との連携を強化する。</p> <p>幼児教育・保育無償化に伴う副食費の助成、保育の必要性がある教育認定子どもの利用料補助を着実に推進し、就学前教育と保育環境の充実を図る。</p>

事業費名	わらすっこの療育支援事業費	令和2年度 決算額	43,033,639円	
令和3年度 事業所管課	子育て応援部 こども政策課			
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 心身において発達支援が必要と認められる児童に対し、個別プログラムを取り入れた療育教室を開催する。 発音等ことばの発達が気になる幼児に対し、就学前にことばの教室を開催する。 軽度・中等度の難聴児に対する補聴器購入費用の一部助成。 障害児通所支援事業所に対し、サービスの提供実績に基づき障害児通所給付費を支給する。 日中一時支援事業、放課後等デイサービス事業を利用した小学生又は特別支援学校小学部児童の保護者に対し、利用者自己負担分を助成する。 市外特別支援学校の寄宿舎で生活する生徒の交通手段として、スクールバスを運行し、保護者の負担軽減を図る。 <p>【計画値】</p> <ol style="list-style-type: none"> 療育支援教室：のびっこ教室 10人 / ジャンプ教室 5人 幼児ことばの教室 10人 軽度・中等度難聴児補聴器助成 2件 障害児通所給付費対象者延べ人数 254人 日中一時支援事業等利用者負担助成 15人 特別支援学校スクールバス利用 5人 	評価	達成	
取組・成果	<ol style="list-style-type: none"> 発達支援が必要である児童に対し、個別プログラム及び臨床心理士からの助言を活かした療育教室を開催し、個々の特性に応じた適切な支援及び指導を行うとともに、その保護者への子育て支援を行った。 発音や吃音などのことばの発達が気になる年長児に対して、幼児ことばの教室を開催し、就学後の生活が円滑に進むよう指導を行った。 軽度・中等度の難聴児に対する補聴器の購入費の一部を助成し、対象児童の家庭及び学校生活における聴き取り能力の向上に寄与した。 放課後等デイサービス事業者に対し、サービスの提供実績に基づき障害児通所給付費を支給した。 			

取組・成果	5 日中一時支援事業、放課後等デイサービス事業を利用した小学生又は特別支援学校小学部児童の保護者に対し、利用者自己負担分を助成し経済的負担を軽減した。
	6 花巻清風支援学校本校の寄宿舎で生活する生徒の交通手段として、スクールバスを運行し、保護者の送迎に係る負担軽減に寄与した。
	【実績値】
	1 療育支援教室：のびっこ教室 11人 / ジャンプ教室 3人
	2 幼児ことばの教室 8人
	3 軽度・中等度難聴児補聴器助成 4件
	4 障害児通所給付費対象者延べ人数 285人
5 日中一時支援事業等利用者負担助成 18人	
6 特別支援学校スクールバス利用 6人	

事業費名	保育所等運営事業費（保育所運営委託）	令和2年度 決算額	927,832,995円	
令和3年度 事業所管課	子育て応援部 こども政策課			
事業内容	<p>1 保護者の就労や出産等の理由により、保育施設の利用を希望する子育て世代が増加していることから、保育の受け皿となる市内12カ所の保育所と2カ所の認定こども園の運営費を国の定める基準により負担し、安心して子育てができる環境を提供し、児童の健全な育成を図る。</p> <p>2 3～5歳児の副食費のうち、国の免除対象外児童の費用を助成し、保護者の経済的負担と保育施設の業務負担の軽減を図る。</p> <p>3 保育の必要性がある3歳以上の児童で、認定こども園等の預かり保育事業や認可外保育施設、一時預かり事業、病児保育事業、ファミリー・サポート・センター事業を利用した際の利用料を補助し、保護者の負担軽減を図る。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 年齢別入所児童数：0歳児 104人、1歳児 120人、 2歳児 131人、3歳児 171人、 4歳児 179人、5歳児 185人、合計 890人</p> <p>2 副食費助成園児数：延べ 3,792人</p> <p>3 施設等利用給付数：3人</p>	評価	達成	
取組・成果	<p>1 市内居住者が利用する保育所や認定こども園等の教育・保育施設に対して運営費を負担することにより、保護者が安心して子どもを預けることができる環境を構築し、児童の健全な育成に努めた。</p> <p>保育所、認定こども園の定員に対する充足率は85.4%であり、保育所等の利用ニーズに対し十分に対応することができた。</p> <p>【年度末市内保育施設入所児童数（定員に対する充足率）】</p> <p>遠野 82人（82.0%）、神明 59人（84.3%）、綾織 43人（86.0%）、 岩滝 26人（86.7%）、附馬牛29人（96.7%）、白岩 98人（98.0%）、 松崎 44人（88.0%）、土淵 63人（90.0%）、青笹 97人（97.0%）、 上郷 48人（96.0%）、宮守 47人（62.7%）、達曾部33人（82.5%）、 鱒沢 13人（65.0%）、聖光 78人（74.3%） 合計 760人（85.4%）</p> <p>2 幼児教育・保育の無償化制度において国の免除対象とならない3～5歳児の副食費（おかず代・おやつ代）を助成し、保護者の経済的負担と保育施設職員の事務負担を軽減した。</p> <p>3 幼児教育・保育の無償化制度により認定こども園の教育認定児童で、預かり保育事業を利用した児童のうち、「保育の必要性」がある世帯に対して、無償化の上限額の範囲内で利用料を補助し、保護者の負担軽減を図った。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 年齢別入所児童数：0歳児 95人、1歳児 134人、2歳児 117人、 3歳児 126人、4歳児 148人、5歳児 140人、合計 760人</p> <p>2 副食費助成園児数：延べ 3,365人</p> <p>3 施設等利用給付数：2人</p>			

事業費名	保育所等運営事業費（保育所設置者運営）	令和2年度 決算額	67,505,560円	
令和3年度 事業所管課	子育て応援部 こども政策課			
事業内容	<p>1 地域の実情や、子育て世代における生活・就労形態の多様化に応じた保育サービスを提供するため、特別保育事業として「障害児保育事業」「保育所地域活動事業」「地域子育て支援拠点事業」「延長保育事業」「一時預かり事業」の実施を市内保育施設運営事業者に委託するとともに、保育所の円滑な運営を図るため、事業者に対し運営費を補助する。</p> <p>2 従業員のために事業所内に保育施設を設置する事業者に対して、管理運営に要する費用を助成し、保育環境の充実を図る。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 特別保育事業 4事業</p> <p>2 地域子育て支援センター 1カ所</p> <p>3 運営費補助 1件</p> <p>4 企業内託児保育施設助成 1件</p>	評価	達成	
取組・成果	<p>1 生活・就労形態の多様化に応じた特別保育事業を実施し、子育て環境の充実を図った。</p> <p>(1) 特別保育事業 7,773,260円</p> <p>(2) 地域子育て支援拠点事業（利用者延べ人数2,117人） 7,870,300円</p> <p>(3) 令和元年度子ども・子育て支援交付金返還金 2,304,000円</p> <p>2 社会福祉法人遠野市保育協会に対して運営費補助金を交付し、保育所・認定こども園の円滑な運営を推進した。 49,058,000円</p> <p>3 企業内託児保育施設設置者に対して管理運営に要する経費の一部を助成し、職場の子育て環境の充実を図った。 500,000円</p> <p>【実績値】</p> <p>1 特別保育事業 4事業（障害児保育 5人、保育所地域活動 13事業、延長保育 3カ所、一時預かり 1カ所）</p> <p>2 地域子育て支援センター 1カ所</p> <p>3 運営費補助 1件</p> <p>4 企業内託児保育施設助成 1件</p>			

事業費名	幼稚園応援事業費	令和2年度 決算額	29,061,580円	
令和3年度 事業所管課	子育て応援部 こども政策課			
事業内容	<p>1 市内の児童が通園する私立幼稚園を運営する法人に対し、幼児教育の振興及び円滑な経営を図るため運営費を給付する。</p> <p>2 国の免除対象外児童の副食費を助成する。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 年齢別入所児童数：3歳児 11人、4歳児 12人、5歳児 12人、合計 35人</p> <p>2 副食費助成園児数：延べ 240人</p> <p>3 施設等利用給付数：10名</p>	評価	達成	
取組・成果	<p>1 私立幼稚園の運営費を負担することによって、充実した幼児教育環境の提供及び園の円滑な運営を支援した。</p> <p>2 国の免除対象とならない満3歳～5歳児の副食費（おかず代及びおやつ代）を助成し、保護者の経済的負担と職員の事務負担を軽減した。</p> <p>3 預かり保育事業を利用した児童のうち、「保育の必要」がある世帯に対して、無償化の上限額の範囲内で利用料の助成を図った。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 年齢別入所児童数：満3歳児 8人、3歳児 6人、4歳児 8人、5歳児 9人、合計31人</p> <p>2 副食費助成園児数：延べ 209人</p> <p>3 施設等利用給付：10人</p>			

基本方針	1 ふるさと教育の推進
施策の方向	(2) 学校教育の充実
施策の展開	① 教育内容の充実

施策の展開に係る 全体総括	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、教育活動にも大きな影響を及ぼし、例年行われてきた学校行事や地域行事についても延期や中止、縮小を余儀なくされましたが、学校、保護者、関係機関等が連携、協力した教育活動の継続により学びの保障に取り組んできました。</p> <p>このような状況の中、遠野市の学校教育目標である「知・徳・体のバランスのとれた人間形成 ～ふるさと遠野や日本、世界の発展に貢献する人材の育成～」の目標達成に向け、次の5つの項目（①学校経営の質的向上、②確かな学力の育成、③豊かな人間性の育成、④健やかな体の育成、⑤特別支援教育の充実）に重点を置き施策の展開を図ってきた。</p> <p>確かな学力の育成では、教育研究所が平成25年から実施している義務教育9年間を見通した第2次学力向上取組（R2～R4）も後期を迎え、学力検査の結果活用による個の能力に応じた指導の充実や、教職員の指導力向上による学力の向上に努めてきた。</p> <p>また、教育研究所内にICT教育部会及びキャリア教育部会を新たに設置し、GIGAスクール構想に基づくICT機器の活用による個別最適な学びの充実や、児童生徒のキャリア形成を図るため、「遠野市キャリア・パスポート」の具体的な利活用について検討を進めた。</p>
課題	<p>全国標準学力検査において、将来的に小中学校とも学力偏差値「50」を超えることを目指すとともに、中学校の新学習指導要領が令和3年度から全面実施となることから、学習指導要領改訂の趣旨を踏まえ、遠野市教育研究所の学力向上取組及びGIGAスクール構想に基づくICT機器の活用による個別最適な学びの充実を図り、学習の質を一層高める授業改善を推進することで、確かな学力の育成を図っていく。</p>

事業費名	体育・文化行事奨励費	令和2年度 決算額	2,132,590円	
令和3年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課			
事業内容	<p>「知・徳・体」の「知・徳」に位置付けて実施する事業。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次代を担う児童・生徒に対し、「ふるさと遠野」のよさ、自分の将来や地域の未来について考える機会をつくり、文章に表現することや読むことを通して、言語能力を養い豊かな人間性を育むことを目的に、遠野市内小中学校児童・生徒文集「遠野」を発刊する。 ・文化創造活動の能力を育み、もって豊かな情操を養うことを目的に遠野市内小中学校児童生徒作品展を開催する。 ・体育活動及び文化活動の振興を通して市内小中学校の児童生徒の健全な育成を図る事業を行う団体に対して補助金を交付する。 ・地方公共団体等が主催する各種大会（県、東北、全国）に児童生徒が出場するために要する経費の一部について助成を行う。 <p>【計画値】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 児童生徒作品展の開催 1回 2 児童生徒文集の発刊 250冊 3 事業補助団体 4団体 	評価	概ね達成	
取組・成果	<p>小中学校児童生徒文集「遠野」の発刊や小中学校児童生徒作品展の文化事業を実施することにより、芸術に親しみながら感性や表現力を高めるとともに、作品制作を通して目標に向い努力する心と向上心を養う取組ができた。</p> <p>市立小・中学校の児童生徒を対象とした体育活動及び文化活動の事業を実施する団体に対し、補助金を交付することにより、児童生徒の健全な育成に寄与した。</p>			

取組・成果	<p>なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、岩手県中学校総合体育大会が中止となったが、市内小学校陸上記録会や音楽祭、地区中学校総合体育大会や総合文化祭は、感染症対策を講じた上で行われた。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 児童生徒作品展の開催 1回</p> <p>2 児童生徒文集の発刊 250冊</p> <p>3 事業補助団体 4団体</p>
-------	--

事業費名	外国語指導助手招へい事業費	令和2年度 決算額	14,875,476円	
令和3年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課			
事業内容	<p>「知・徳・体」の「知」に位置付けて実施する事業。</p> <p>1 小中学校における外国語教育の充実及びグローバル化に対応した教育施策の一環として外国語指導助手（以下「ALT」という。）を配置することにより、生きた英語に接する機会を提供し、児童生徒の外国語によるコミュニケーション能力の基礎を育む。</p> <p>2 新学習指導要領により、英語4技能を総合的に育成できるよう小学校からの外国語教育に係るティーム・ティーチングの充実が図られることとなることから、英語による発信力の育成の強化を図る。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 派遣学校数 14校</p> <p>2 派遣回数 562回 / 内訳：小学校 227回、中学校 335回</p>	評価	概ね達成	
取組・成果	<p>1 外国語教育は、小学校では外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験しながら、コミュニケーション能力の基礎を養うこと、中学校では身近な事柄を中心としたコミュニケーション能力の育成を図ることが目標となっている。</p> <p>これらの目標達成に向け、教員の確保や指導力向上だけでは十分対応することができない部分にALTを活用し、外国語の授業に係る取組の充実を図ることができた。</p> <p>2 また、中学校区を中心としたALT配置としたことにより、ALTが小中学校の外国語教育をつなぐ役割を果たし、児童生徒が安心して、コミュニケーション活動に取り組めるようになった。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 派遣学校数 14校</p> <p>2 派遣回数 515回 / 内訳：小学校 209回、中学校 306回</p>			

事業費名	特色ある学校づくり事業費	令和2年度 決算額	893,257円	
令和3年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課			
事業内容	<p>知・徳・体」の全てに位置付けて実施する事業。</p> <p>児童生徒一人一人の学習・生活の基礎力の充実及び個性と能力の伸長に努め、生命と体と心を育む教育の具現化を図るため、市内各小中学校ではそれぞれ企画・立案した事業計画をもとに地域の歴史・文化・伝統・特徴を生かして、農業体験、伝統芸能の継承など地域理解学習に取り組む。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 実施学校数 14校</p>	評価	達成	
取組・成果	<p>市内各小中学校でそれぞれ企画・立案した事業計画を基に、地域の特性や人材を生かした特色ある教育活動を展開することにより、学ぶことの楽しさや地域と学校に魅力を感じる児童生徒を育成することができた。</p> <p>事業を通じて、遠野に伝わる伝統や文化に触れることで、児童生徒のふるさとへの愛着と誇りを持つ心が育まれるとともに、地域に開かれた学校づくりの一助となった。</p> <p>また、キャリア教育部会と連携を図り、地域教材による学びを系統化、体系化することにより、子どもたちのキャリア形成につなげている。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 実施学校数 14校</p>			

事業費名	令和・南部藩寺子屋交流事業費	令和2年度 決算額	0円	
令和3年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課			
事業内容	<p>昭和62年に「たくましく生活を切り開く遠野人」の育成を目指して事業を開始し、平成18年からは平成18年2月16日に設立された「平成・南部藩」事業の一つとして事業を継続している。「知・徳・体」の「徳」に位置付けて実施する。</p> <p>根城南部氏の縁でつながる青森県八戸市児童との交流の中で、日常生活と異なる集団生活を通じて、コミュニケーション能力等を高め、リーダー性を向上させるとともに、「遠野市」を学び伝え、八戸市の歴史や文化の学びから「遠野市」を振り返り、郷土の歴史や自然のよさについて見つめ直すことを通して、郷土を愛する心や態度を育て、遠野市の将来を担う人材の育成を目指していく。</p> <p>楽しいだけの交流で終わることなく、学んだことをこれからの学校生活で発揮できる交流内容とする。</p>		評価	未達成
取組・成果	新型コロナウイルス感染症の影響により、八戸市教育委員会と協議の上、事業を中止とした。			

事業費名	特別支援教育推進事業費	令和2年度 決算額	23,127,648円	
令和3年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課			
事業内容	<p>「知・徳・体」の「知」に位置付けて実施する事業。</p> <p>1 市内小中学校の通常学級に在籍し、個別に特別な支援を必要とする児童生徒の学校生活における介助及び学習活動における支援を行うため、担任教諭の補助等を行う特別支援教育支援員を配置する。</p> <p>2 ことばの指導が必要な児童に対する指導の充実を図るため、巡回指導を行う学習指導講師を配置する。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 特別支援教育支援員 19人 (内訳：小学校11校 16人、中学校3校 3人)</p> <p>2 学習指導講師 1人(巡回指導数9校 17人)</p>		評価	達成
取組・成果	<p>1 特別支援教育支援員を全小中学校に配置することにより、児童生徒の学習や生活面において、個々の特性に応じた適切な指導と必要な支援を行うことで、学校生活へのより良い適応が図られるとともに、インクルーシブ教育の充実を図ることができた。</p> <p>2 学習指導講師の巡回指導により、児童のニーズに応じて適切な「ことば」の指導が実施され、児童7人がことばの教室を退級することができた。</p> <p>3 補聴器や人工内耳を装着しても騒音下での聞き取りが難しい児童にロジャータッチスクリーンマイク(補聴援助システム)を貸与することにより、安心して授業を受けることができる環境をつくることができた。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 特別支援教育支援員 19人(内訳：小学校11校 16人、中学校3校 3人)</p> <p>2 学習指導講師 1人(巡回指導数9校 17人)</p>			

事業費名	遠野わらすっこ「夢の教室」事業費	令和2年度 決算額	522,510円	
令和3年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課			
事業内容	<p>「知・徳・体」の「徳」に位置付けて、実施する事業。 心身の健全な発達に向けて、公益財団法人 日本サッカー協会が取り組んでいるところのプロジェクト「夢の教室」を活用し、現役スポーツ選手、その他OB、OG等が「夢先生」として、フェアプレー精神や助け合いの重要性を児童に伝えるとともに、夢を持つことの素晴らしさ、夢に向かって努力することの大切さを語り合う授業を行う。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 実施校数 小学校7校 2 実施回数 小学校7回</p>	評価	達成	
取組・成果	<p>各小学校では、「夢の教室」をキャリア教育の一環と位置付け、児童が自分の将来について考えるきっかけづくりの一つとなるよう取り組んだ。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、夢先生を各学校へ派遣して実施する対面式から、学校と日本サッカー協会を「WEB会議システム」で結んで行うオンライン方式により実施した。</p> <p>夢や目標を持つこと、夢に向かって努力することの大切さや相手を思いやる心を事業を通じて学ぶことができた。</p> <p>児童及び担任の先生を対象に実施したアンケートからも夢や目標に向かって、前向きな気持ちを持つ児童が増えている結果が見受けられた。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 実施校数 小学校7校 2 実施回数 小学校7回</p>			

事業費名	学力向上対策事業費	令和2年度 決算額	19,568,651円	
令和3年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課			
事業内容	<p>「知・徳・体」のうち「知・徳」に位置付けて実施する事業。</p> <p>1 学力向上対策</p> <p>(1) 市内小中学生を対象として標準学力検査（NRT）及び知能検査を実施し、その結果をもとに現状分析及び課題の把握を行う。</p> <p>(2) 中学校区単位で小中学校が連携し、研究及び研修の充実を図るとともに指導主事や学校教育専門員等の学校訪問による授業力の向上に努め、児童生徒の確かな学力の育成を図る。</p> <p>2 教育相談</p> <p>(1) 児童生徒等の学校生活に関する教育相談等の担当として、教育相談員を配置する。</p> <p>(2) 様々な理由で学校に通うことができない児童生徒を対象に、教育相談や学習指導を行う適応指導教室を開設する。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 標準学力検査及び知能検査の実施 1回 2 教育相談員の配置 4名 3 教育研究発表会等の開催 2回 4 学校公開研究会の実施 3校で各1回</p>	評価	達成	
取組・成果	<p>1 標準学力検査及び知能検査の分析結果によって明らかとなった児童生徒個々の実態をもとに、中学校区ごとの共通取組項目「授業改善のための2つの視点」及び「遠野市授業づくりスタンダード」に基づいた授業改善を図り、教員の授業力向上に努めた。</p> <p>第2次遠野市総合計画前期基本計画のまちづくり指標に設定している全国標準学力検査偏差値においては、小学校、中学校とも目標値を概ね達成することができた。</p> <p>教育研究所内にICT教育部会及びキャリア教育部会を新たに設置し、GIGAスクール構想に基づく1人1台端末の環境整備やキャリア・パスポートの具体的な利活用について</p>			

取組・成果	<p>て検討を進めた。</p> <p>2 遠野市教育研究所及び市内3中学校に教育相談員を配置し、生徒や保護者の教育相談を通して不安や悩みの解消に努めるとともに、市内中学校の教員への支援を行った。</p> <p>また、適応指導教室を設置し、学校への登校が困難な生徒に対して学校復帰に向けた支援を行うとともに、卒業に向けての進路指導等を行った。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 標準学力検査及び知能検査の実施 1回</p> <p>2 教育相談員の配置 4名</p> <p>3 教育研究発表会等の開催 2回</p> <p>4 学校公開研究会の実施 3校で各1回</p>
-------	--

事業費名	特定教科集中対策事業費	令和2年度 決算額	5,146,540円	
令和3年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課			
事業内容	<p>「知・徳・体」のうち「知」に関する事業。</p> <p>1 特定教科学習支援員の配置 市内中学校に、特定教科学習支援員を配置し、教育委員会が指定する特定教科について、ティーム・ティーチング又は個別指導等の充実による学力の向上を図る。</p> <p>2 外国語教育の充実 遠野市立中学校に在籍する生徒を対象に、目標・目的意識を持って英語の学習に取り組む環境を提供し、英語に対する学習意欲の向上を図るとともに外国語教育の充実の強化を図る。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 特定教科学習支援員の配置 4人</p> <p>2 実用英語検定受験者数 195人</p>	評価	達成	
取組・成果	<p>1 中学校全国標準学力検査の結果により、数学科に課題があることから、特定教科学習支援員を学校規模に応じて配置し、数学の授業においてティーム・ティーチングや家庭学習支援を行うことで、生徒一人一人の実態に応じた指導・支援を実施した。</p> <p>2 「読む、書く、聞く、話す」の英語の4技能をバランスよく伸ばし生きた英語を身に付けることができるよう、英語検定合格に向けた対策講座の実施や受験費用を補助することにより、目標・目的意識を持って英語の学習に取り組む環境を提供し、英語に対する学習意欲及び英語力の向上を図ることができた。</p> <p>実用英語検定については、対象の中学3年生195人の内、都合により受験できなかった8人を除く187人に受験費用を補助し、費用負担の軽減を図った。</p> <p>また、英検I B Aの受験により生徒個々が学力を把握する機会を得るとともに、学習の目標づくりや教員の指導の充実に資することができた。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 特定教科学習支援員の配置 4人</p> <p>2 実用英語検定受験者数(中学3年生) 187人</p>			

基本方針	1 ふるさと教育の推進
施策の方向	(2) 学校教育の充実
施策の展開	② 教育環境の充実

施策の展開に係る全体総括	<p>土淵小学校屋内運動場大規模改造工事や市内小中学校の普通教室等に空調設備設置工事を実施し、児童生徒が快適に学習できる教育環境の整備を図った。</p> <p>児童生徒がより質の高い教育環境で学ぶことができるよう、教材備品等の充実を図った。また、GIGAスクール構想に基づくネットワーク環境等を整備し、ICTを活用した新たな学びの環境を整備した。</p> <p>さらに、スクールバス等の運行による通学対策の実施、経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対する就学援助費の支給、特別支援教育への支援を行い、義務教育の円滑な実施に努めた。</p>
課題	<p>建築後相当の年数が経過している学校施設等については、引続き施設の維持補修を行うとともに、計画的に改修・長寿命化を進め、児童・生徒が安全かつ健康で心豊かな学校生活を送ることができるように教育環境の整備を行う必要がある。</p>

事業費名	小学校管理費（繰越明許費）	令和2年度 決算額	93,087,610円
令和3年度 事業所管課	総務企画部 管財担当		
事業内容	<p>1 市内小学校の普通教室及びコンピュータ教室等に空調設備を設置し、学習環境の改善を図る。空調設備資機材の調達が困難であったため、年度内の完成が見込めず令和元年度からの繰越事業とした。</p> <p>2 入札契約は「遠野市立中学校空調設備設置（その2）工事」との合併入札分離契約である。</p> <p>3 令和2年3月の強風により屋根の一部が剥離した小友小学校屋内運動場の屋根改修工事を実施する。</p> <p>【事業の概要】</p> <p>1 遠野市立小学校空調設備設置（その2）工事 工 期：令和2年1月21日～令和2年6月12日 工事内容：普通教室及びコンピュータ教室等の空調設備設置工事</p> <p>2 遠野市立小学校空調設備設置（その2）工事監理業務 期 間：令和2年2月10日～令和2年6月19日 業務内容：普通教室及びコンピュータ教室等の空調設備設置工事に伴う工事監理業務</p> <p>3 小友小学校屋内運動場屋根改修工事 工 期：令和2年5月1日～令和2年6月30日 工事内容：小友小学校屋内運動場の屋根葺き替え</p> <p>【計画値】</p> <p>1 空調設備工事：小友小学校/青笹小学校/上郷小学校/ 宮守小学校/達曽部小学校/鱒沢小学校 計6校</p> <p>2 屋根改修工事：小友小学校</p>	評価	達成
取組・成果	<p>1 普通教室及びコンピュータ教室等に空調設備を設置し、児童が快適に学習できる環境の整備を図った。</p> <p>2 工事施工箇所を追加し、ことばの教室に空調設備を設置した。</p> <p>3 小友小学校屋内運動場の屋根を改修し、安心して活動ができる環境の整備を図った。</p> <p>【事業の実施内容】</p> <p>1 遠野市立小学校空調設備設置（その2）工事 工期：令和2年1月21日～令和2年6月12日 / 工事費：77,379,500円</p> <p>2 遠野市立小学校空調設備設置（その2）工事監理業務 期間：令和2年2月10日～令和2年6月19日 / 委託料：1,485,000円</p>		

取組・成果	3 ことばの教室空調設備設置工事ほか 遠野北小学校 工期：令和2年6月19日～令和2年6月26日 / 工事費：289,300円 遠野小学校 工期：令和2年7月8日～令和2年7月31日 / 工事費：1,045,000円 綾織小学校 工期：令和2年7月30日～令和2年8月12日 / 工事費：129,910円 4 小友小学校屋内運動場屋根改修工事 工期：令和2年5月1日～令和2年6月29日 / 工事費：12,758,900円 【実績値】 1 空調設備工事：小友小学校/青笹小学校/上郷小学校/宮守小学校/達曾部小学校/ 鱒沢小学校/遠野北小学校/遠野小学校/綾織小学校 計 9校 2 屋根改修工事：小友小学校		

事業費名	小学校管理費	令和2年度 決算額	127,016,438円	
令和3年度 事業所管課	総務企画部 管財担当			
事業内容	1 児童が安心安全に学習できる環境を維持するため、市内11校の学校施設の適正な管理を行う。 【計画値】 1 設備点検等委託 17件 2 附馬牛小学校屋内プール防水改修工事ほか 3件	評価	達成	
取組・成果	1 学校施設を適正に管理するため、学校施設点検を実施し、施設の修繕箇所及び学校の修繕要望等を確認し、着実な施設修繕を行った。 2 施設、設備等の突発的な破損等に対して迅速に対応するとともに、専門業者による各種設備点検業務等を委託し、施設の適正な管理を行った。 3 附馬牛小学校屋内プール防水改修工事等を行い、快適な教育環境の整備を図った。 【実績値（学校施設の主な維持管理）】 1 修繕（達曾部小学校ボイラー修繕ほか76件） 4,622,663円 2 設備点検等委託（建築物定期報告業務ほか24件） 21,800,722円 3 工事（附馬牛小学校屋内プール防水改修工事ほか8件） 29,246,195円			

事業費名	小学校体育館大規模改造整備事業費（繰越明許費）	令和2年度 決算額	105,540,600円	
令和3年度 事業所管課	総務企画部 管財担当			
事業内容	1 土淵小学校屋内運動場は、昭和53年12月に建築され、老朽化が進んでいることから大規模改造工事を実施し、施設の長寿命化を図る。令和2年3月に国庫補助金の交付決定を受けたため、年度内の完成が見込めず令和元年度からの繰越事業とした。 【事業の概要】 工期：令和2年4月14日～令和2年10月16日 工事内容：内部改修（天井・床・壁改修） 外部改修（屋根・外壁塗装、躯体ひび割れ補修） 外構改修（南側舗装、スロープ設置） トイレ改修（多目的トイレ新設、洗面所改修） 【計画値】 土淵小学校屋内運動場 1 大規模改造工事 / 2 工事監理業務	評価	達成	
取組・成果	1 屋内運動場の大規模改造工事を実施し、施設的环境改善を図り、併せて施設の長寿命化を実現した。可能な限り学校の意見を取り入れ、省エネに配慮し、児童が楽しく活動ができる明るい環境を整備した。 【事業の実施内容】 土淵小学校屋内運動場大規模改造工事 1 建築工事 工期：令和2年4月14日～10月16日 / 工事費 89,003,200円 2 電気設備工事 工期：令和2年4月14日～10月16日 / 工事費 14,007,400円 3 工事監理業務 期間：令和2年5月1日～10月26日 / 委託料 2,530,000円 【実績値】 土淵小学校屋内運動場 1 大規模改造工事 2 工事監理業務			

基本方針	1 ふるさと教育の推進
施策の方向	(2) 学校教育の充実
施策の展開	② 教育環境の充実

施策の展開に係る全体総括	<p>児童生徒がより質の高い教育環境で学ぶことができるよう、教材備品等の充実を図った。また、GIGAスクール構想に基づく高速大容量のネットワークと一人一台端末の整備を行い、ICTを活用した学習環境を構築した。</p> <p>また、スクールバス等の運行による通学対策の実施、経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対する就学援助費の支給、特別支援教育への支援を行い、児童生徒の学びを保証し義務教育の円滑な実施を図った。</p>
課題	GIGAスクールにより整備した環境の活用を進めるため、教職員に対する利活用研修や使用方法に係る情報共有などのフォロー体制を構築する必要がある。

事業費名	通学対策費（小学校）	令和2年度 決算額	18,169,381円	
令和3年度 事業所管課	総務企画部 管財担当 教育委員会事務局 学校教育課			
事業内容	<p>遠距離から小学校に通学する児童のため、必要な通学対策を講じ、教育環境の充実を図る。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 遠距離から小友小、附馬牛小、土淵小、宮守小、達曾部小、鱒沢小に通学する児童を対象に、新型コロナウイルス感染症対策に努めながらスクールバス等を運行する。 2 路線バスで遠野北小に通学する松崎地区の児童を対象に、定期券を購入し配布する。 3 青笹小に通学する瀬内地区の児童の一部を対象に、タクシーを運行する。 4 スクールバス等の運行区間以外の遠距離通学児童を対象に、遠距離通学費補助金を支給する。 5 教育課程における児童の移動のため、スクールバスの特別運行を行う。 <p>【計画値】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 スクールバス等の運行(バス5台、ワゴン3台、タクシー1台) 2 遠距離通学費補助金支給見込児童数 25人 3 スクールバス特別運行見込延べ台数 335台 	評価	達成	
取組・成果	<p>スクールバス等の運行により、遠距離から小学校に通学する児童の負担の軽減と通学時の安全を図った。実績値の2及び3は計画値を下回ったが、対象児童全員への補助金の支給、必要なスクールバス特別運行を行ったことから事業の目的を達成することができた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 運行に当たっては新型コロナウイルス感染症対策のため、消毒用アルコールの設置、座席の間隔をあける、こまめな換気など基本的な対策を徹底した。 2 スクールバス等の利用対象とならない遠距離通学児童全員に対し遠距離通学費補助金を支給し、保護者の負担の軽減を図った。 3 学校運営上必要な行事や市主催の各種事業等における児童の送迎のため、スクールバス等の特別運行による有効活用を図った。 4 新型コロナウイルス感染症の影響による行事等の縮小のため、例年より運行台数は減ったが、密を避けるため乗車人数に余裕を持った座席数でのバスの配車などに努めた。 <p>【実績値】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 スクールバス等の運行(バス5台、ワゴン3台、タクシー1台) 2 遠距離通学費補助金支給児童数 14人 3 スクールバス特別運行延べ台数 177台 			

事業費名	教材整備費（小学校）	令和2年度 決算額	45,767,694円	
令和3年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課			
事業内容	<p>小学校における教育活動に必要な教材備品及び図書を購入するとともに、パーソナルコンピュータの借上げを行い、教育環境の整備に資する。</p> <p>1 国補助を活用し、実験観察等を通じた効果的な教育活動に資するための理科及び算数に係る教材備品並びにGIGAスクール構想により整備したネットワーク及び端末を効果的に活用するための周辺機器を整備する。</p> <p>2 教科書採択地区変更に伴い、教科書会社が変更となった教師用教科書を購入するとともに、児童の学力に資することを目的に指導書、指導教材及び資料を整備する。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 教材備品購入 50品目 / 2 図書購入 1,100冊</p> <p>3 パーソナルコンピュータ借上げ 437台</p> <p>4 理科・算数教材備品整備 4校 / 5 教師用教科書 745点</p> <p>6 教師用指導書 604点 / 7 指導教材・資料 106点</p>	評価	達成	
取組・成果	<p>1 教育活動に必要な教材備品の購入、読書による言語活動の充実を図るための図書の購入、情報教育の推進を図るためパーソナルコンピュータの借上げを行った。</p> <p>2 理科・算数教材備品を整備し、観察、実験等を通じた実践的な教育活動の充実を図ることができた。</p> <p>3 ウェブ会議用のカメラ及びマイクスピーカー、モバイルWi-Fiルーター、特別支援教育用ソフトを整備し、ICTを活用した新たな教育環境の充実を図った。</p> <p>4 教師用教科書、指導書、指導教材及び資料を購入し、児童の学力向上に資するための資料整備を図った。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 教材備品購入 76品目 / 2 図書購入 1,308冊</p> <p>3 パーソナルコンピュータ借上げ 437台</p> <p>4 理科・算数教材備品整備 4校 / 5 教師用教科書 745点</p> <p>6 教師用指導書 604点 / 7 指導教材・資料 106点</p>			

事業費名	就学援助費（小学校）	令和2年度 決算額	15,927,971円																																			
令和3年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課																																					
事業内容	<p>経済的理由により就学援助を申請し認定を受けた児童の保護者に対して、学用品費、校外活動費、修学旅行費、学校給食費等就学に必要な費用を援助する。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 認定見込児童数 218人</p>	評価	達成																																			
取組・成果	<p>経済的理由により就学援助の認定を受けた児童の保護者に対し、費用の援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施を図った。</p> <p>実績値は計画値を下回ったが、申請のあった就学援助認定対象全世帯へ就学援助費を支給し支援を行ったことから事業の目的は達成した。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 認定児童数 203人</p> <p>【内訳】</p> <table border="0"> <tr> <td>学用品費（198人）</td> <td>2,284,327円</td> <td>/</td> <td>通学用品費（157人）</td> <td>355,064円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（198人）</td> <td>390,764円</td> <td>/</td> <td>新入学用品費（12人）</td> <td>612,720円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費（30人）</td> <td>527,729円</td> <td>/</td> <td>通学費（3人）</td> <td>24,000円</td> </tr> <tr> <td>クラブ活動費（6人）</td> <td>1,726円</td> <td>/</td> <td>P T A会費（147人）</td> <td>485,650円</td> </tr> <tr> <td>卒業アルバム代（28人）</td> <td>298,500円</td> <td>/</td> <td>学校病医療費（49人）</td> <td>577,505円</td> </tr> <tr> <td>学校病医療通院費（30人）</td> <td>71,460円</td> <td>/</td> <td>学校給食費（196人）</td> <td>8,254,746円</td> </tr> <tr> <td>新入学学用品費入学前支給 小学校（13人）</td> <td>663,780円</td> <td>/</td> <td>中学校（23人）</td> <td>1,380,000円</td> </tr> </table>	学用品費（198人）	2,284,327円	/	通学用品費（157人）	355,064円	校外活動費（198人）	390,764円	/	新入学用品費（12人）	612,720円	修学旅行費（30人）	527,729円	/	通学費（3人）	24,000円	クラブ活動費（6人）	1,726円	/	P T A会費（147人）	485,650円	卒業アルバム代（28人）	298,500円	/	学校病医療費（49人）	577,505円	学校病医療通院費（30人）	71,460円	/	学校給食費（196人）	8,254,746円	新入学学用品費入学前支給 小学校（13人）	663,780円	/	中学校（23人）	1,380,000円		
学用品費（198人）	2,284,327円	/	通学用品費（157人）	355,064円																																		
校外活動費（198人）	390,764円	/	新入学用品費（12人）	612,720円																																		
修学旅行費（30人）	527,729円	/	通学費（3人）	24,000円																																		
クラブ活動費（6人）	1,726円	/	P T A会費（147人）	485,650円																																		
卒業アルバム代（28人）	298,500円	/	学校病医療費（49人）	577,505円																																		
学校病医療通院費（30人）	71,460円	/	学校給食費（196人）	8,254,746円																																		
新入学学用品費入学前支給 小学校（13人）	663,780円	/	中学校（23人）	1,380,000円																																		

事業費名	G I G Aスクール環境整備事業費（小学校/繰越明許費）	令和2年度 決算額	5,939,800円	
令和3年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課			
事業内容	<p>1 国のG I G Aスクール構想に基づき、子どもたち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育I C T環境を構築するため、高速大容量のネットワークと児童1人1台端末の整備を行う。</p> <p>2 ネットワーク整備にあたり、現況の配線調査、無線アクセスポイントの電波伝搬調査及び設計を行う。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 整備学校数 11校（全小学校）</p>	評価	達成	
取組・成果	<p>1 令和2年6月末に現況の配線調査、無線アクセスポイントの電波伝搬調査及び設計を完了した。</p> <p>2 調査及び設計に当っては学校に要望確認を行い、必要とする箇所への整備に努めた。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 整備学校数 11校（全小学校）</p>			

事業費名	G I G Aスクール環境整備事業費（小学校）	令和2年度 決算額	112,975,000円	
令和3年度 事業所管課	総務企画部 管財担当 教育委員会事務局 学校教育課			
事業内容	<p>1 国のG I G Aスクール構想に基づき、子どもたち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育I C T環境を構築するため、高速大容量のネットワークと児童1人1台端末の整備を行う。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 整備学校数 11校</p> <p>2 端末整備台数 1,371台</p>	評価	達成	
取組・成果	<p>1 学校内に高速大容量のネットワークと、普通教室、特別教室及び屋内運動場など授業を行う場所に無線アクセスポイントを整備し、同時多数接続でも快適に利用できる環境を構築した。</p> <p>2 各学校のネットワークを集約し、一元管理によるセキュリティ強化を図るとともに、学校間でファイルの共有を行える環境を構築した。</p> <p>3 児童及び教職員用の1人1台端末を運用保守を付帯して借上げを行い、令和3年3月からネットワークと合わせて利用を開始し、I C Tを活用した新しい学びの環境を整備した。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 整備学校数 11校</p> <p>2 端末整備台数 1,371台</p>			

事業費名	中学校管理費（繰越明許費）	令和2年度 決算額	33,399,300円	
令和3年度 事業所管課	総務企画部 管財担当			
事業内容	<p>1 遠野東中学校と遠野西中学校の普通教室及びコンピュータ教室等に空調設備を設置し、学習環境の改善を図る。空調設備資機材の調達が困難であったため、年度内の完成が見込めず令和元年度からの繰越事業とした。</p> <p>2 入札契約は「遠野市立小学校空調設備設置（その2）工事」との合併入札分離契約である。</p> <p>【事業の概要】</p> <p>1 遠野市立中学校空調設備設置（その2）工事 工 期：令和2年1月21日～令和2年6月12日 工事内容：普通教室及びコンピュータ教室等の空調設備設置工事</p>	評価	達成	

事業内容	2 遠野市立中学校空調設備設置（その2）工事監理業務 期 間：令和2年2月10日～令和2年6月19日 業務内容：普通教室及びコンピュータ教室等の空調設備設置工事に伴う工事監理業務 【計画値】 1 空調設備設置工事：遠野東中学校、遠野西中学校		
取組・成果	1 普通教室及びコンピュータ教室等に空調設備を設置し、生徒が快適に学習できる環境の整備を図った。 2 故障した遠野西中学校職員室の空調設備の交換工事を実施した。 【事業の実施内容】 1 遠野市立中学校空調設備設置（その2）工事 工期：令和2年1月21日～令和2年6月12日 / 工事費：32,061,700円 2 遠野市立中学校空調設備設置（その2）工事監理業務 期間：令和2年2月10日～令和2年6月19日 / 委託料： 506,000円 3 遠野西中学校職員室空調設備交換工事 工期：令和2年6月19日～令和2年7月10日 / 工事費： 831,600円 【実績値】 1 空調設備設置工事：遠野東中学校、遠野西中学校 2 空調設備交換工事：遠野西中学校		

事業費名	中学校管理費	令和2年度 決算額	60,488,499円
令和3年度 事業所管課	総務企画部 管財担当		
事業内容	1 生徒が安心安全に学習できる環境を維持するため、市内3校の学校施設の適正な管理を行う。 【計画値】 1 設備点検等委託 15件 2 遠野西中学校グラウンド排水施設整備工事	評価	達成
取組・成果	1 学校施設を適正に管理するため、学校施設点検を実施し、施設の不具合箇所及び学校の修繕要望箇所等を確認のうえ着実な施設修繕を行った。 2 施設、設備等の突発的な破損等に対して迅速に対応するとともに、専門業者による各種設備点検業務等を委託し施設の適正な管理を行った。 3 遠野西中学校グラウンドの排水施設整備工事を行い快適な屋外教育環境の整備を図った 【実績値（学校施設の主な維持管理）】 1 修繕（遠野東中学校漏水修繕ほか17件） 2,309,980円 2 設備点検等委託（建築物定期報告業務ほか16件） 7,253,190円 3 工事（遠野西中学校グラウンド排水施設整備工事） 18,404,100円		

事業費名	通学対策費（中学校）	令和2年度 決算額	52,580,577円
令和3年度 事業所管課	総務企画部 管財担当 教育委員会事務局 学校教育課		
事業内容	遠距離から中学校に通学する生徒のため、必要な通学対策を講じ、教育環境の充実を図る。 1 遠距離から通学する以下の生徒を対象に、新型コロナウイルス感染症対策に努めながらスクールバス等を運行する。 (1) 遠野中のうち綾織小及び附馬牛小の区域の生徒 (2) 遠野東中のうち土淵小及び上郷小の区域の生徒 (3) 遠野西中のうち小友小、達首部小及び鱒沢小の区域の生徒 2 教育課程における生徒の移動にスクールバスの特別運行を行う。 3 スクールバスを計画的に更新し生徒のより安全な通学に資する。 【計画値】 1 スクールバス等の運行 (遠野中6台、遠野東中6台、遠野西中6台)	評価	達成

事業内容	2 スクールバス特別運行見込延べ台数 270台 3 スクールバス更新 1台		
取組・成果	<p>スクールバス等の運行により、遠距離から中学校に通学する生徒の負担の軽減と通学時の安全を図った。実績値のうち、スクールバス特別運行の延べ台数は計画値を下回ったが、必要なスクールバス特別運行を行ったことから事業の目的を達成することができた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 スクールバス等の運行により、遠距離から中学校に通学する生徒の負担の軽減と通学時の安全を図った。 2 運行に当たっては新型コロナウイルス感染症対策のため、消毒用アルコールの設置、座席の間隔をあける、こまめな換気など基本的な対策を徹底した。 3 学校運営上必要な行事やクラブ活動等における生徒の送迎のため、スクールバス等の特別運行による有効活用を図った。 4 新型コロナウイルス感染症の影響による行事等の縮小のため、例年より少ない運行台数ではあったが、密を避けるため乗車人数に余裕を持った座席数でのバスの配車などに努めた。 5 遠野西中で運行するスクールバス1台を更新し、より安全な通学手段を確保した。 <p>【実績値】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 スクールバス等の運行（遠野中6台、遠野東中6台、遠野西中6台） 2 スクールバス特別運行延べ台数 107台 3 スクールバス更新 1台 		

事業費名	教材整備費（中学校）	令和2年度 決算額	21,586,923円
令和3年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課		
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 中学校における教育活動に必要な教材備品及び図書を購入するとともに、パーソナルコンピュータの借上げを行い、教育環境の整備に資する。 2 国補助を活用し、実験観察等を通じた効果的な教育活動に資するための理科及び数学に係る教材備品並びにGIGAスクール構想により整備したネットワーク及び端末を効果的に活用するための周辺機器を整備する。 3 令和3年度からの中学校教科書の改訂により必要となる教師用教科書を購入するとともに、生徒の学力向上に資することを目的に指導書、指導教材及び資料を整備する。 <p>【計画値】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教材備品購入 24品目 / 2 図書購入 600冊 3 パーソナルコンピュータ借上げ 197台 4 理科・数学教材備品整備 3校 / 5 教師用教科書 230点 6 教師用指導書 289点 / 7 指導教材・資料 46点 		評価 達成
取組・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 教育活動に必要な教材備品の購入、読書による言語活動の充実を図るための図書の購入、情報教育の推進を図るためパーソナルコンピュータの借上げを行った。 図書購入冊数は計画値を下回ったが、生徒のニーズに合わせた蔵書を購入したため、事業の目的は達成した。 2 理科・数学教材備品を整備し、観察、実験等を通じた実践的な教育活動の充実を図ることができた。 3 ウェブ会議用のカメラ及びマイクスピーカー、モバイルWi-Fiルーターを整備し、ICTを活用した新たな教育環境の充実を図った。 4 教師用教科書、指導書、指導教材及び資料を購入し、生徒の学力向上に資するための資料整備を図った。 <p>【実績値】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教材備品購入 25品目 / 2 図書購入 582冊 3 パーソナルコンピュータ借上げ 197台 4 理科・数学教材備品整備 3校 / 5 教師用教科書 230点 6 教師用指導書 289点 / 7 指導教材・資料 46点 		

事業費名	就学援助費（中学校）	令和2年度 決算額	12,533,284円																															
令和3年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課																																	
事業内容	<p>経済的理由により就学援助を申請し認定を受けた生徒の保護者に対して、学用品費、校外活動費、修学旅行費、学校給食費等就学に必要な費用を援助する。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 認定見込生徒数 133人</p>	評価	達成																															
取組・成果	<p>経済的理由により就学援助の認定を受けた生徒の保護者に対し、費用の援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施を図った。実績値は計画値を下回ったが、申請のあった就学援助認定対象全世帯へ就学援助費を支給し支援を行ったことから事業の目的は達成した。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 認定生徒数 104人</p> <p>【内訳】</p> <table border="0"> <tr> <td>学用品費（104人）</td> <td>2,362,026円</td> <td>/</td> <td>通学用品費（75人）</td> <td>170,061円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（104人）</td> <td>240,047円</td> <td>/</td> <td>新入学用品費（7人）</td> <td>420,000円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費（35人）</td> <td>1,714,866円</td> <td>/</td> <td>クラブ活動費（100人）</td> <td>1,455,097円</td> </tr> <tr> <td>生徒会費（104人）</td> <td>224,000円</td> <td>/</td> <td>P T A会費（89人）</td> <td>228,600円</td> </tr> <tr> <td>卒業アルバム代（36人）</td> <td>316,800円</td> <td>/</td> <td>学校病医療費（18人）</td> <td>243,508円</td> </tr> <tr> <td>学校病医療通院費（5人）</td> <td>9,300円</td> <td>/</td> <td>学校給食費（104人）</td> <td>5,148,979円</td> </tr> </table>	学用品費（104人）	2,362,026円	/	通学用品費（75人）	170,061円	校外活動費（104人）	240,047円	/	新入学用品費（7人）	420,000円	修学旅行費（35人）	1,714,866円	/	クラブ活動費（100人）	1,455,097円	生徒会費（104人）	224,000円	/	P T A会費（89人）	228,600円	卒業アルバム代（36人）	316,800円	/	学校病医療費（18人）	243,508円	学校病医療通院費（5人）	9,300円	/	学校給食費（104人）	5,148,979円			
学用品費（104人）	2,362,026円	/	通学用品費（75人）	170,061円																														
校外活動費（104人）	240,047円	/	新入学用品費（7人）	420,000円																														
修学旅行費（35人）	1,714,866円	/	クラブ活動費（100人）	1,455,097円																														
生徒会費（104人）	224,000円	/	P T A会費（89人）	228,600円																														
卒業アルバム代（36人）	316,800円	/	学校病医療費（18人）	243,508円																														
学校病医療通院費（5人）	9,300円	/	学校給食費（104人）	5,148,979円																														

事業費名	G I G Aスクール環境整備事業費（中学校/繰越明許費）	令和2年度 決算額	1,620,500円	
令和3年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課			
事業内容	<p>1 国のG I G Aスクール構想に基づき、子どもたち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育I C T環境を構築するため、高速大容量のネットワークと生徒1人1台端末の整備を行う。</p> <p>2 ネットワーク整備にあたり、現況の配線調査、無線アクセスポイントの電波伝搬調査及び設計を行う。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 整備学校数 3校</p>	評価	達成	
取組・成果	<p>1 令和2年6月末に現況の配線調査、無線アクセスポイントの電波伝搬調査及び設計を完了した。</p> <p>2 調査及び設計にあたっては学校に要望確認を行い、必要とする箇所への整備に努めた。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 整備学校数 3校</p>			

事業費名	G I G Aスクール環境整備事業費（中学校）	令和2年度 決算額	36,904,400円	
令和3年度 事業所管課	総務企画部 管財担当 教育委員会事務局 学校教育課			
事業内容	<p>1 国のG I G Aスクール構想に基づき、子どもたち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育I C T環境を構築するため、高速大容量のネットワークと生徒1人1台端末の整備を行う。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 整備学校数 3校</p> <p>2 端末整備台数 729台</p>	評価	達成	
	<p>1 学校内に高速大容量のネットワークと、普通教室、特別教室及び屋内運動場など授業を行う場所に無線アクセスポイントを整備し、同時多数接続でも快適に利用できる環境を構築した。</p> <p>2 各学校のネットワークを集約し、一元管理によるセキュリティ強化を図るとともに、学校間でファイル共有を行える環境を構築した。</p>			

取組・成果	<p>3 生徒及び教職員用の1人1台端末を運用保守を付帯して借上げを行い、令和3年3月からネットワークと合わせて利用を開始しICTを活用した新しい学びの環境を整備した。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 整備学校数 3校</p> <p>2 端末整備台数 729台</p>
-------	--

事業費名	新型コロナウイルス感染症予防対策事業費	令和2年度 決算額	16,900,696円	
令和3年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課			
事業内容	<p>新型コロナウイルスの感染リスクを最小限にし、安心安全な学校活動を継続するため、感染症対策に必要な消耗品及び備品の購入を行う。</p> <p>また、市及び学校から保護者に対する緊急の一斉連絡手段を確保するため、保護者向け連絡システムを導入する。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 消耗品購入</p> <p>2 備品購入</p> <p>3 保護者連絡システム導入</p>	評価	達成	
取組・成果	<p>マスク、ハンドソープ、消毒用アルコール、非接触型体温計などの衛生用品を、需要増により入手困難となっていた時期に一括購入した。</p> <p>また、国の補助を活用して消耗品購入に係る予算を各学校に配当したほか、必要となる備品を購入し、感染症対策を徹底しながら教育活動を継続するため体制を整えた。</p> <p>さらには、保護者向け連絡システムを新たに導入し、緊急時だけでなく日常的な一斉連絡手段を確保した。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 消耗品購入</p> <p>2 備品購入</p> <p>3 保護者連絡システム導入</p>			

基本方針	1 ふるさと教育の推進
施策の方向	(2) 学校教育の充実
施策の展開	③ 学校給食の充実

施策の展開に係る 全体総括	<p>成長期にある児童生徒に栄養バランスのとれたおいしい給食を提供することを通じて、健康の増進、体位の向上を図ることはもちろんのこと、発達段階に応じた食生活に対する正しい理解と望ましい食習慣や生活習慣を身に付けるための訪問指導等を行った。</p> <p>また、食材費の一部を市が負担し、栄養面と内容の充実を図った。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症対策のため、学校給食を支える人たちを交えて実施する交流すまいる給食は実施できなかった。</p>
課題	<p>市産直連絡協議会等と連携し地場産の米・野菜等を積極的に使用し地産地消を推進しているが、天候等の影響を受けない安定した供給体制の整備が望まれる。</p>

事業費名	学校給食事業費	令和2年度 決算額	212,857,785円	
令和3年度 事業所管課	教育委員会 学校給食センター			
事業内容	<p>1 市内小中学校の児童生徒に対し、学校給食を通じて適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図るとともに、日常生活における食事について正しい理解を深め、望ましい食習慣が身につくことを目標として訪問指導等を実施する。</p> <p>2 学校給食の実施にあたっては、遠野産の食材を積極的に使用し地産地消を推進するとともに、安心安全なおいしい給食の提供に努める。</p> <p>給食実施校数 小学校 12校（うち1校は特別支援学校） 中学校 4校（うち1校は特別支援学校）</p> <p>給食供給人数 2,073人 年間給食実施回数 小学校168回、中学校168回</p> <p>【計画値】</p> <p>1 学校給食の食材に占める地場産物使用割合 66.6%</p>		評価	概ね達成
取組・成果	<p>1 遠野産の食材を積極的に使用し、栄養バランスのとれたおいしい給食を提供できた。</p> <p>2 令和元年度から学校給食の食材費の一部を市が負担しており、引き続き栄養価の改善とデザート回数を維持することができた。</p> <p>食材費の公費負担額 小学生1食当たり27円、年間4,536円 中学生1食当たり52円、年間8,736円</p> <p>3 納入業者及び調理配送業者に対する衛生管理指導を徹底し、安心安全な給食提供に努めた。</p> <p>4 地場産物については、天候の影響により使用を見送った食材もあり、目標値は下回ったものの概ね達成することができた。</p> <p>5 食に関する指導では、各学校の実情や要望に合わせたテーマのもと、児童生徒に対して授業を行った。</p> <p>栄養教諭による授業回数 29回</p> <p>6 食材の生産者や、給食の関係者らが学校を訪問し、児童生徒と給食を共にする「交流すまいる給食」は新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し実施を見送った。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 学校給食の食材に占める地場産物使用割合 64.4%</p>			

事業費名	新型コロナウイルス感染症予防対策事業費	令和2年度 決算額	491,267円	
令和3年度 事業所管課	教育委員会 学校給食センター			
事業内容	<p>令和2年3月の臨時休業に伴う学校給食休止食数分の学校給食費を保護者に返還し、保護者の負担軽減等を行う。</p> <p>業者に発注後、廃棄が生じた食材費の補償を行う。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 給食費返還処理件数 2,050件 2 補償対応件数 2件</p>		評価	達成
取組・成果	<p>1 国等の補助を活用して、休止となった食数分の学校給食費を保護者に返還した。また、返還の手続きに要した経費を事業費として支出した。</p> <p>2 業者に対し、廃棄が生じた食材（パン、牛乳）に係る費用補償を行った。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 給食費返還処理件数 2,050件 2 補償対応件数 2件</p>			

基本方針	1 ふるさと教育の推進
施策の方向	(3) 高等学校への支援
施策の展開	① 魅力ある高校づくり応援事業の推進

施策の展開に係る全体総括	<p>遠野高等学校と遠野緑峰高等学校の2校存続に向け入学者数の確保を図るため、市内外の中学生等に対する高校の魅力発信を行った。</p> <p>令和2年度からは「地域みらい留学」に参画し、市内高等学校の魅力を全国に発信し県内外からの入学者を確保する新たな取組を開始した。</p> <p>経済的事由により修学が困難な学生に対して学資の貸与を行い、向学心ある人材の育成に取り組んだ。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、通年で奨学生の追加募集や納付相談の受付を行ったが追加応募等の相談は寄せられなかった。</p>
課題	<p>市内高等学校の存続には入学者の確保が不可欠であるものの、少子化の進行により市内・県内からの入学者の確保も厳しい状況下にある。</p> <p>そこで、「地域みらい留学」へ参画し全国への情報発信に取り組んだものの、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインでの説明会の開催となった。更に市内高校の魅力を広めるため、継続的な情報発信に取り組む必要がある。</p> <p>奨学資金については、貸与資金の未償還が課題であることから、本人及び保証人等への定期的な催告による納付の促進に努める必要がある。</p>

事業費名	高校魅力化サポート事業費	令和2年度 決算額	8,597,300円	
令和3年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課			
事業内容	<p>1 市内高等学校の魅力向上の活動支援をはじめ、市内高等学校の魅力や情報を全国に発信するため新たに「地域みらい留学」に参加し、市外からの入学者の確保につなげる取組を行う。</p> <p>2 公共交通機関を利用して市内高等学校へ通学する生徒の保護者に対し、通学費の補助を行うことで保護者の経済的な負担の軽減を図り、入学者数の確保に取り組む。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 遠野緑峰高校情報処理科への入学者数 20人以上 (高校魅力化アクションプラン目標値)</p> <p>2 市内高校通学費支援者数 80人</p>	評価	概ね達成	
取組・成果	<p>1 地域みらい留学への参加 都道府県の枠を越え多様な人々と高校生活を過ごす「地域みらい留学」事業に参加して、市内高等学校の魅力を全国に発信する取組を行った。 新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン説明会となったが合同説明会を通じ全国の中学生等に市内高等学校の魅力を発信した。</p> <p>2 市内高校が取り組む高校魅力化推進事業への補助金交付 (1) 学校紹介パンフレット、PR用DVD作成支援 (両校) (2) 「新しい『遠野物語』を創るプロジェクト」活動支援 (遠野高校) (3) 上級資格取得の検定料支援、ICT技術修得支援 (緑峰高校)</p> <p>3 市内高等学校通学費補助金 公共交通機関利用の通学費の半額を補助し保護者の経済的負担を軽減した。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 令和3年度入学者数：遠野高校 普通科 105人 遠野緑峰高校 生産技術科 27人 / 情報処理科 14人</p> <p>2 市内高校通学費支援者数 101人</p>			

事業費名	育英事業費	令和2年度 決算額	33,515,350円	
令和3年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課			
事業内容	<p>1 遠野市奨学資金貸与条例に基づき、向学心に燃える優秀な学生であって経済的事由により修学困難な者に対して学資の貸与を行い、有能な人材を育成する。</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症に係る経済的支援のため、償還計画の変更などの納付相談を受け付ける。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 新規奨学生採用数 35人（うち大学生等 30人/高校生 5人）</p> <p>2 継続奨学生数 55人（うち大学生等 51人/高校生 4人）</p>	評価	達成	
取組・成果	<p>1 新規奨学生の募集を行い、新たに20人の奨学生を決定し、継続奨学生54人と合わせて74人に奨学金を貸与した。新規奨学生採用数は実績値が計画値を下回ったが、新規希望者全員に貸与を行ったことから事業の目的を達成することができた。</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症に係る経済的支援のため、残りの新規採用枠に対して通年で追加募集を行ったが、追加申込みはなかった。</p> <p>3 新型コロナウイルス感染症の影響による償還計画の変更などの納付相談もなかった。</p> <p>4 令和3年3月末で、継続奨学生のうち15人が貸与期間を満了した。</p> <p>【貸付状況】</p> <p>新規奨学生 9,300,000円、継続奨学生 24,160,000円、計 33,460,000円</p> <p>【実績値】</p> <p>1 新規奨学生採用数 20人（うち大学生等19人/高校生1人）</p> <p>2 継続奨学生数 54人（うち大学生等50人/高校生4人）</p>			

基本方針	2 生涯学習の推進
施策の方向	(1) 社会教育の充実
施策の展開	<p>① 総合推進体制の整備</p> <p>② 家庭や地域教育の充実</p> <p>③ 成人教育の充実</p> <p>④ 高齢者教育の充実</p> <p>⑤ 青少年の健全育成と指導者の養成</p>

施策の展開に係る 全体総括	生涯学習講座、教育関係団体活動の支援のほか、講師やサークルの情報等をまとめた生涯学習ガイドブックを作成し、市民の学びの充実を図ることとしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施回数及び参加人数等を制限して事業を展開した。
課題	<p>ウイズコロナを見据えて、社会教育に関係する機関・団体同士の連携を図り、効果的に事業を実施するなど生涯学習推進体制の環境を整える必要がある。</p> <p>遠野みらい創りカレッジは、民間活力を活用しながら、地域資源を活かし、且つ多様性を尊重したプログラムの企画運営により地域の未来を担う「次世代地域リーダー」の育成を実践していることから10款に統合した。</p>

事業費名	学びのまちづくり推進事業費	令和2年度 決算額	56,175,768円	
令和3年度 事業所管課	市民センター 生涯学習スポーツ課			
事業内容	<p>生涯学習の推進と社会教育の充実のため、地域住民の要求課題と地域づくりに向けた必要課題を踏まえた学習機会の創出を図る。</p> <p>1 生涯学習及び芸術振興に係る業務の一部を外部委託し、民間ノウハウを活用した事業を展開することにより豊かな生活に資する。</p> <p>2 各地区センター（公民館）を拠点に、機能を活かした課題の把握と地域の特徴を把握したうえでの学習機会の創出を図る。</p> <p>3 姉妹都市等との交流事業の充実を図ることにより国際交流を推進する。</p> <p>4 旧土淵中学校を利活用した「遠野みらい創りカレッジ」において、地域交流・次世代人材育成・地域研究・地域創生・産業振興を図るための各種プログラムの企画運営を外部委託する。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 全講座における継続的な講座数 5講座</p> <p>2 生涯学習講座の延べ受講者数 4,800人</p> <p>3 中学生の海外派遣数 9人</p> <p>4 遠野みらい創りカレッジ運営業務プログラム実施数 20事業 利用者数 7,000人</p>	評価	未達成	
取組・成果	<p>生涯学習講座事業の一部を外部委託し、地域住民のニーズを踏まえた学習機会の創出を図ることができた。</p> <p>1 生涯学習事業及び芸術振興事業</p> <p>【実施した主な事業】</p> <p>(1) 生涯学習事業（郷土理解講座等）</p> <p>(2) 青少年活動サポート事業（少年少女ふるさと発見探偵団等）</p> <p>(3) 第15回遠野市民芸術祭</p> <p>(4) 第46回市民の舞台遠野物語ファンタジー「遠野猫譚(ねこばなし)」</p> <p>2 地区センター（公民館）事業</p> <p>・高齢者大学、郷土料理教室等</p> <p>3 国際交流事業</p> <p>・中高生海外派遣事業は中止</p> <p>4 遠野みらい創りカレッジ</p> <p>(1) 次世代人材育成事業</p> <p>・中高生と首都圏の大学生や留学生等の多様な人達との交流</p> <p>・ワークショップなどを通じた当市の魅力発見や多様性の理解</p> <p>・地域のため自ら行動する動機の醸成</p> <p>(2) 産官学連携による地域資源を活かした産業創造事業</p> <p>・農業廃棄物に付加価値をつけるための首都圏大学との共同研究</p> <p>・木製コンポスト活用による生ごみ削減施策の普及活動</p> <p>【実績値】</p> <p>1 全講座における継続的な講座数 5講座（対計画値 100%）</p> <p>2 生涯学習講座の延べ受講者数 1,809人（対計画値 37.7%）</p> <p>3 中学生の海外派遣数 0人（対計画値 0%）</p> <p>4 遠野みらい創りカレッジ運営業務プログラム実施数 14事業（対計画値 70.0%）、利用者数 5,384人（対計画値 76.9%）</p>			

事業費名	地域教育文化振興事業費	令和2年度 決算額	94,763円	
令和3年度 事業所管課	市民センター 生涯学習スポーツ課			
事業内容	<p>保護者や児童及び生徒、地域の教育関係者等を対象に、地域課題に応じた家庭教育についての講演会や研修会等を開催し、子どもたちの健全育成や家庭・地域の教育力の向上に取り組む。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 家庭教育に係る学習講座 14回</p> <p>2 家庭教育ゼミナール参加者数 1,000人</p> <p>3 家庭教育講演会 1回</p>	評価	未達成	
取組・成果	<p>1 家庭教育講座について、小学校7校、中学校3校は開催したが、新型コロナウイルス感染症の影響で小学校4校は中止した。実施した学校では家庭における親子のコミュニケーションや心の育成等についての講演会や研修会を開催した。</p> <p>2 学校・PTA・地域による実践活動についての事例発表を行う、地域で子どもを育てる活動発表会を開催し、地域全体で子どもたちを育てる機運を高めることができた。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 家庭教育に係る学習講座 10回 (対計画値 71.4%)</p> <p>2 家庭教育ゼミナール参加者数 695人 (対計画値 69.5%)</p> <p>3 家庭教育講演会 1回 / 参加者数 200人 (対計画値 100%)</p>			

事業費名	若者と女性の活躍推進事業費	令和2年度 決算額	1,191,538円	
令和3年度 事業所管課	市民センター 生涯学習スポーツ課			
事業内容	<p>1 第3次遠野市男女共同参画基本計画（と・お・のいきいき参画プラン）の計画期間が令和2年度をもって満了することから、令和3年度から5年間を計画期間とする第4次遠野市男女共同参画基本計画を策定する。</p> <p>2 社会教育関係団体として、青少年の育成等に取り組む団体と女性団体に対して補助金を交付し、活動を支援する。</p> <p>3 成人の日の意義を認識し、社会人となる自覚を高めるとともに、遠野の将来を担う新成人を激励・お祝いすることを目的に、成人式「はたちのつどい」を開催する。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 補助金交付団体 (1) 青少年団体 1団体 / (2) 女性団体 1団体</p> <p>2 成人式対象者 240人</p>	評価	未達成	
取組・成果	<p>1 第4次遠野市男女共同参画基本計画（と・お・のいきいき参画プラン）について、幅広い市民により構成された第4次遠野市男女共同計画策定委員会で協議・検討を行い、計画を策定した。</p> <p>2 地域と暮らしを支える活動に取り組む遠野市地域婦人団体協議会に補助金を交付し、コロナ禍での活動を支援した。</p> <p>3 コロナ禍のため、オンライン中心ではあったものの、成人式を予定どおり開催し、社会人となる意識を高めるとともに、新成人を激励・お祝いすることができた。</p> <p>また、新成人が主体的に式典を運営するために成人式実行委員会を組織し、コロナ禍にあっても、開催に向けた方策を協議し準備を進め、新しい生活様式を取り入れた式典の運営やオンライン参加の実施等に取り組むことで、将来的な地域の課題解決に資する力を醸成した。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 補助金交付団体 (1) 青少年団体 1団体 / (2) 女性団体 1団体</p> <p>2 成人式参加者 53人 (対計画値 22.1%)</p>			

事業費名	高齢者元気アップ活動事業費	令和2年度 決算額	2,337,227円	
令和3年度 事業所管課	市民センター 生涯学習スポーツ課			
事業内容	<p>高齢者の健康保持と増進、生きがいを高めるとともに親睦を図り、社会福祉の向上に寄与するため、各種スポーツ大会を開催及び実施に係る支援を行う。</p> <p>また、生きがいをづくり、健康づくり、仲間づくり、地域づくりに取り組む老人クラブ活動を支援することにより、高齢者の自立した生活、生きがいある生活の実現に取り組む。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 各種スポーツ大会数 5回</p> <p>2 各種スポーツ大会参加者数 1,500人</p> <p>3 老人クラブ加入者数 2,570人</p>		評価	未達成
取組・成果	<p>高齢者が生きがいを持ち健やかに生活できるよう、老人クラブが行う自主的な活動等の支援を図ることとしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、大部分の事業が中止となった。</p> <p>そうした状況であったが、シルバー文化祭「展示部門」、女性部事業「生き生き健康体操」、シルバー室内競技大会「囲碁・将棋部門」について感染症対策を講じて実施した。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 各種スポーツ大会数 0回</p> <p>2 各種スポーツ大会参加者数 0人</p> <p>3 老人クラブ加入者数 2,215人（対計画値 86.2%）</p>			

事業費名	青少年健全育成活動事業費	令和2年度 決算額	564,093円	
令和3年度 事業所管課	市民センター 生涯学習スポーツ課			
事業内容	<p>青少年の健全育成を効果的に進めるため、遠野市少年センターに専任少年委員及び少年委員を置き、巡回活動や健全育成の啓発活動に取り組む。</p> <p>また、遠野市少年委員協議会に補助金を交付し、少年委員相互の連携づくりや研鑽に努め、青少年の非行防止、健全育成の推進を図る。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 巡回補導活動 延 550人</p> <p>2 特別補導活動への参加 50人</p>		評価	未達成
取組・成果	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、街頭補導活動の休止期間があったが、小学生の下校時間に合わせた活動や、あいさつ運動、防犯協会主催の巡回活動への参加などで、子ども達への積極的な声かけを実施した。</p> <p>また、「遠野市少年センターだより」を年9回発行し、街頭補導活動の実施状況や少年センターの活動周知など、青少年の健全育成の取組みについて発信した。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 巡回補導活動 延 378人（対計画値 68.7%）</p> <p>2 特別補導活動への参加 0人</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大のため、夏祭り特別補導活動を中止した</p>			

事業費名	新型コロナウイルス感染症予防対策事業費 (成人式オンライン配信事業)	令和2年度 決算額	426,800円	
令和3年度 事業所管課	市民センター 生涯学習スポーツ課			
事業内容	新型コロナウイルス感染防止のため、会場に来場できない対象者に対し、Web会議システム「Zoom」を活用し、オンラインによる参加の機会を確保する。 【計画値】 1 成人式対象者 240人	評価	未達成	
取組・成果	新型コロナウイルスの影響により成人式を中止する市町村がある中、本市においてはWeb会議システムを活用したオンラインでの参加の機会を確保し、成人の日の意義を認識し、社会人となる自覚を高めるとともに、遠野の将来を担う新成人を激励・お祝いするという目的を達成することができた。 【実績値】 1 オンライン参加者 26人 (対計画値 10.8%)			

基本方針	2 生涯学習の推進
施策の方向	(2) 芸術文化活動の推進
施策の展開	① 芸術文化団体の育成と支援 ② 創作芸術文化活動の振興

施策の展開に係る 全体総括	遠野市芸術文化協会、市民の舞台制作団体へ事業費を補助し、市内における芸術文化活動を支援した。 新型コロナウイルス感染症の影響により、各芸術団体等が主催する事業は中止となったが、ガイドラインに即した感染症対策を講じて、市民芸術祭及び遠野物語ファンタジーを開催し、市民に芸術文化に触れる機会をつくることができた。
課題	ウイズコロナを見据えて「新しい生活様式」での芸術文化活動を図るとともに、市民の芸術文化に対する興味関心を高めるため優れた芸術文化に触れる機会を充実する。

事業費名	芸術文化振興事業費	令和2年度 決算額	1,700,000円	
令和3年度 事業所管課	市民センター 生涯学習スポーツ課			
事業内容	市内における芸術・文化の振興を図ることを目的として、芸術文化関係団体に事業費を補助する。 【計画値】 1 自主事業の顧客満足度 85% 2 市民協働の芸術文化事業の参加者数 1,900人 3 市民協働の芸術文化事業の観覧者数 8,770人	評価	未達成	
取組・成果	1 市民センター自主事業 (1) 「遠野の郷に福きたる」邦楽コンサート (令和3年度へ延期) 2 芸術文化団体へ支援 (1) 第15回遠野市民芸術祭 参加者 280人、鑑賞者 1,605人 ① 舞台合同発表会・総合展示会・菊花展は実施、合同茶会は中止 (2) 遠野市芸術文化協会等主催事業 参加者 246人、鑑賞者 1,006人 ① 自主事業の岩手県芸術祭の鑑賞は実施、芸術文化懇談会など3事業が中止 ② 出前講座の音楽、茶道 (遠中、遠高、緑峰高) が中止 ③ 加盟団体の5団体が自主事業 (音楽発表会) を実施			

取組・成果	<p>3 市民協働による活動発表の提供</p> <p>(1) 第46回市民の舞台遠野物語ファンタジー 参加者 169人、鑑賞者 645人 「遠野猫譚（ねこばなし）」2/20～21の3回公演 ※入場無料にし、遠野テレビで2回目公演を生配信にした</p> <p>【実績値】</p> <p>1 自主事業の顧客満足度 0%（実績なし）</p> <p>2 市民協働の芸術文化事業の参加者数 695人（対計画値 36.6%）</p> <p>3 市民協働の芸術文化事業の観覧者数 3,256人（対計画値 37.1%）</p>
-------	---

基本方針	3 ふるさとの文化の継承・創造
施策の方向	(1) 郷土文化の保存と活用
施策の展開	① 博物館活動の推進

施策の展開に係る全体総括	<p>特別展や講座等を開催し、市内外へ情報発信を行い交流人口の拡大に努めた。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大のため、緊急事態宣言が全国に発出されたことから4月から5月にかけては前年度比91%減となり大幅に減少したが、7月から8月の夏季特別展「遠野物語と怪異」開催期間中は前年同期比を上回る入込となった。秋以降の感染再拡大で入館者は減少し、通年では前年度比61%となり大幅に減少した。</p> <p>特別展・企画展の入込は好調であったことから、来年度以降も魅力的な特別展の開催に努める。</p>
課題	<p>博物館教室や特別展に合わせた講座等を開催し、博物館講座等の受講者数は、まちづくり指標の目標値を達成したが、博物館入館者数は未達成であることから、魅力的な特別展やイベントの開催、情報発信の強化などを図る必要がある。</p>

事業費名	博物館費	令和2年度 決算額	7,480,744円	
令和3年度 事業所管課	市民センター 文化課			
事業内容	<p>1 特別展や記念イベントを開催、市内外に情報を発信し、交流人口の拡大を図る。特別展「遠野物語と怪異」企画展「遠野物語が誕生した頃の遠野」「日本のグリム佐々木喜善とグリム兄弟」、遠野町家のひなまつりに合わせた特別展「遠野のひな人形」を開催する。</p> <p>2 児童生徒を対象とした博物館教室を開催し、郷土愛の醸成を図り、豊かな人間性を有する人材の育成に努める。</p> <p>3 市民対象の展示解説会や教室を開催し、文化に親しむ機会を提供する。</p> <p>4 博物館資料の充実を図りながら、資料の収集・整理・保存に努める。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 博物館入館者数 20,800人</p> <p>2 博物館講座等の受講者数 950人</p>	評価	概ね達成	
取組・成果	<p>1 コロナ禍のなかではあったが、特別展「遠野物語と怪異」や企画展「遠野物語が誕生した頃の遠野」「日本のグリム佐々木喜善とグリム兄弟」を計画どおり開催し、『遠野物語』と遠野の歴史・文化を発信することができた。</p> <p>2 また、商工会と連携した特別展「遠野のひな人形」を開催して、中心市街地への集客に努めた。</p> <p>3 さらに寄贈資料を活用した特別公開「遠野領内図」を青笹地区センターで開催し、資料の有効活用に努めた。</p> <p>4 博物館教室等を開催し、郷土の歴史を学ぶ学習機会を提供し、市民の学習ニーズに応えた。</p>			

取組・成果	【実績値】	
	1 博物館入館者数	10,755人
	2 博物館講座等の受講者数	1,144人
	3 企画展・特別展入館者数	
	(1) 企画展「遠野物語が誕生した頃の遠野」	711人
(2) 特別展「遠野物語と怪異」	4,575人	
(3) 企画展「日本のグリム佐々木喜善とグリム兄弟」	2,949人	
(4) 特別展「遠野のひな人形」	797人	

事業費名	博物館映像等整備事業費	令和2年度 決算額	3,938,000円		
令和3年度 事業所管課	市民センター 文化課				
事業内容	来館者に安全で快適な展示環境を提供するため博物館の映像設備のオーバーホールを計画的に実施する。 【計画値】 1 映像投影装置オーバーホール 6台	評価	達成		
取組・成果	博物館の展示の目玉となっているマルチスクリーンシアター等の映像設備のオーバーホールを行った。 適切な管理を行い、来館者に安全で快適な展示環境を提供することができた。 【実績値】 1 映像投影装置オーバーホール 6台				

基本方針	3 ふるさとの文化の継承・創造
施策の方向	(1) 郷土文化の保存と活用
施策の展開	② 図書館活動の推進

施策の展開に係る 全体総括	図書館の利用促進と読書の普及活動を図ることを目標に、館内・館外における図書サービス事業を展開し、利用者の拡大と読書の普及活動に努めた。 学校、児童館、福祉施設等との連携を図り、計画的な図書の貸出及び配架の充実に努めた。貴重な図書館資料、郷土資料の情報収集や、整理・保存の適正な管理に努めた。
課題	図書館における所蔵図書の更なる利用拡大と、市民がより利用しやすく親しみやすい図書館としての環境づくりが必要。

事業費名	図書館活動事業費	令和2年度 決算額	14,416,926円		
令和3年度 事業所管課	市民センター 文化課				
事業内容	1 読書普及活動と図書館の利用促進・図書館資料の収集保存・館外奉仕活動と施設貸出の利用促進・自主活動グループへの支援と育成を推進する。 2 図書館総合情報システムを活用し、図書館業務の効率化と迅速化を図る。 3 利用促進につなげるため、広報紙、ホームページ等の情報発信に努める。 4 移動図書館車の効率的な運行を推進し読書の普及に努める。 5 学校図書館、読書ボランティアとの情報共有を図るとともに学校図書館、児童館、福祉施設等の連携を行い貸出に努め配架図書の充実に努める。	評価	概ね達成		

事業内容	<p>6 貴重な郷土資料、図書館資料の情報収集、整理、保存の適切な管理に努める。</p> <p>7 遠野市立図書館内の視聴覚ホール、児童館の施設を利用した映画会等の開催し、学習教材としての映像での情報の提供を図る。</p> <p>8 1歳児健康相談時に本等の配布を行い、子どもが生まれたときから本に触れ、興味を持つ機会の提供に努める。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 図書館の利用者数 15,300人</p> <p>2 市民への図書貸出冊数 76,500冊</p> <p>3 移動図書館車の貸出冊数 11,400冊</p> <p>4 学校図書館等への貸出冊数 21,500冊</p> <p>5 映画会の開催 子ども映画会/特別子ども映画会 12回/4回 市内児童館特別映画会 11回</p> <p>6 対象者への配布 129組</p>		
取組・成果	<p>1 充実した選書による図書の貸出、計画的な企画展・読み聞かせ会の開催、広報による図書情報の提供により、宮守ゆうYOUソフト館を含め、より利用しやすい読書環境を提供した。</p> <p>2 小中学校や児童館と連携した図書館教室や多読者表彰を実施し、ニーズに応える図書の貸出を行い、読書活動推進を図った。</p> <p>3 移動図書館車で利用者の要望を基に検討した場所を計画的に巡回運行し、リクエストに応える貸出を行った。</p> <p>4 図書館講座として「絵本」についての研修会を中部教育事務所と連携して開催し、読書ボランティアとしての資質向上を図った。</p> <p>5 子どもの読書活動を総合的かつ計画的に推進することを目的に「第4次遠野市子どもの読書活動推進計画」を策定した。</p> <p>6 新型コロナウイルス感染拡大状況により開催回数が増減したが、各種映画会を開催し、映像資料を通して学習教材の情報提供を行った。</p> <p>7 1歳児懸念項相談時等に本等の配布を実施し、読み聞かせ等本に触れる機会の提供、図書館の利用の促進を図った。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 図書館の利用者数 14,491人</p> <p>2 市民への図書貸出冊数 55,108冊</p> <p>3 移動図書館車の貸出冊数 10,777冊</p> <p>4 学校図書館等への貸出冊数 20,930冊</p> <p>5 映画会の開催 子ども映画会/特別子ども映画会 8回/3回 市内児童館特別映画会 9回</p> <p>6 対象者への配布 129組（配布率100%）</p>		

基本方針	3 ふるさとの文化の継承・創造
施策の方向	(2) 文化財の保護と継承
施策の展開	① 文化財調査・保護 ② 郷土芸能活動の推進 ③ 遠野遺産の認定と保護活動及び活用の推進

施策の展開に係る全体総括	<p>コロナウイルス感染症拡大防止により、郷土芸能の発表会などのイベントは中止せざるを得ず支援することができなかったが、重要文化財千葉家住宅をはじめとする文化財の修理等については、感染防止対策の徹底に加え、オンラインによる会議や工事見学会のインターネット配信をするなど工夫しながら、文化財の保存と活用を市民協働で着実に進めた。</p> <p>埋蔵文化財の保護については、開発行為に伴う緊急発掘調査への対応により、出土資料台帳整理は目標件数に達しなかったが、埋蔵文化財の体験教室や企画展の開催については国庫補助事業を活用して実施し、市民への普及啓発に努めた。</p> <p>文化財や遠野遺産の取り組みを紹介するため「遠野文化遺産セッション」を今年度初めて開催し、市内の地域づくり関係者と情報共有することができた。</p>
課題	市内にある多様な文化財を、将来に渡って確実に保護していくために、更なる文化財の情報発信や活用を進め、その担い手の裾野を広げていく必要がある。

事業費名	文化財調査保護費	令和2年度 決算額	1,384,025円	
令和3年度 事業所管課	市民センター 文化課			
事業内容	<p>文化財保護法及び遠野市文化財保護条例に基づき適正な文化財保護行政を継続するとともに、遠野の文化や歴史を物語る貴重な財産として文化財の調査・保護、啓蒙活動を推進し、市民の文化向上と郷土愛の醸成を図る。</p> <p>また、民俗芸能の保存継承を推進するため備品整備や発表の場の提供等、必要な支援を行う。</p> <p>1 指定文化財の調査・保護及びその他未指定文化財の調査、保護啓蒙活動の実施 2 民俗芸能の活動支援</p> <p>【計画値】</p> <p>1 民俗芸能の映像記録件数 1件 2 芸能備品整備補助 3 郷土芸能共演会開催支援 1回 4 神楽共演会開催支援 1回</p>	評価	未達成	
取組・成果	<p>1 市指定文化財保存事業補助・文化財指定・未指定文化財調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登坂氏庭園の管理に係る費用の一部を補助した。 ・上琴畑湿原を新たに市指定天然記念物に指定した。 ・旧青笹村役場庁舎について、専門家に依頼し文化財的調査を実施した。 <p>2 民俗芸能の保存継承</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平倉神楽及び外山神楽の2団体に対し備品整備の補助を行った。 ・例年、発表の場として開催を支援している郷土芸能共演会及び神楽共演会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止により開催されなかったため、映像記録を含めた支援を行うことができなかった。 <p>【実績値】</p> <p>1 民俗芸能の映像記録件数 0件 2 芸能備品整備補助 2団体 3 郷土芸能共演会開催支援 0回 4 神楽共演会開催支援 0回</p>			

事業費名	埋蔵文化財発掘調査費	令和2年度 決算額	6,023,560円	
令和3年度 事業所管課	市民センター 文化課			
事業内容	<p>1 埋蔵文化財の保護と各種開発事業の円滑な実施を図るため、周知の埋蔵文化財包蔵地の分布確認・試掘・本発掘の各種調査を実施する。</p> <p>2 調査記録や出土遺物の適正な管理を行いながら公開活用に資するため資料台帳の作成を推進する。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 開発に伴う遺跡分布調査 100件 / 試掘調査 10件 発掘調査 1件</p> <p>2 市内出土遺物の資料台帳入力 500件</p>	評価	概ね達成	
取組・成果	<p>1 各種開発行為に伴う埋蔵文化財の取扱いについて調整し、開発行為が遺跡に該当したもののや、3,000㎡以上の開発のものについて、試掘調査を行い円滑な事業の実施と埋蔵文化財保護に努めた。</p> <p>2 発掘調査2件に対応し、記録保存を実施した。</p> <p>(1) 阿部館跡－平安時代の水路跡や住居跡等</p> <p>(2) 宮代IV遺跡－平安時代の住居跡・経塚等</p> <p>3 市内遺跡出土遺物のデータベース作成及び公開活用事業の実施</p> <p>(1) 企画展「知られざる！遠野の縄文ライフ」の開催</p> <p>(2) 「縄文土器作り教室」(参加者数：15人)</p> <p>(3) 「勾玉作り教室」(参加者数：9人)</p> <p>【計画値】</p> <p>1 開発に伴う遺跡分布調査 102件 / 試掘調査 5件 / 発掘調査 2件</p> <p>2 市内出土遺物の資料台帳入力 150件</p>			

事業費名	重要文化財千葉家住宅整備事業費	令和2年度 決算額	354,738,780円	
令和3年度 事業所管課	市民センター 文化課			
事業内容	<p>1 国指定重要文化財千葉家住宅を永久的に保存していくため、保存修理事業及び防災事業を実施する。</p> <p>2 専門家委員会を開催し助言を得て、工事を円滑に進める。</p> <p>3 修理後により良い活用を図るため、文化庁の指導に基づき保存活用計画を策定する。</p> <p>4 千葉家旧蔵古文書等資料の整理及び調査を継続するとともに、家財資料の調査成果を報告書にまとめる。</p> <p>実施事業：(1) 修理事業 (2) 防災事業 (3) 活用事業</p> <p>【計画値】</p> <p>1 工事関係：地盤改良工事 108カ所、石蔵壁工事 20.6㎡ 危険石対策工事</p> <p>2 修理現場公開 1回 / 保存活用計画策定 / 整備事業記録映像</p> <p>3 家財資料調査報告書刊行 300部 古文書整理台帳作成 3,000点</p>	評価	達成	
取組・成果	<p>1 保存修理工事の実施 敷地の脆弱な盛土地盤の強化のため108カ所に改良杭を打設した。石蔵について壁20.6㎡の補修を行い修理完了した。また、一部工事を前倒しし、主屋基礎の打設、補足木材の繕い、屋根に使用する山茅、葦簀の購入を行った。 修理工事の状況を公開するため見学会を令和2年11月1日に新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行った上で開催し、市内外から91人が参加した。</p> <p>2 防災施設等工事 稲荷社裏にある崩落の危険性がある巨石にアンカーを打設し安定化させ崩落を防止する工事を実施した。</p>			

取組・成果	<p>3 活用に向けた検討及び資料整理</p> <p>重文千葉家の活用を考える会と連携し、修理見学会のインターネットライブ配信を行った。重要文化財千葉家住宅保存活用委員会を2回（うち1回はオンライン開催）開催し、保存活用計画等について協議を行い、保存活用計画を策定した。また、家財資料調査の成果を報告書にまとめたの刊行、古文書資料調査の継続、整備事業全体の映像記録を委託し作成することができた。ふるさと納税の取組を継続し、470人から7,721,000円の寄付を募ることができた。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 工事関係：地盤改良工事 108カ所 / 石蔵壁工事 20.6㎡ / 危険石対策工事</p> <p>2 修理現場公開 1回 / 保存活用計画策定 / 整備事業記録映像</p> <p>3 家財資料調査報告書刊行 300部 / 古文書整理台帳作成 3,312点</p>
-------	--

事業費名	文化的景観保存事業費	令和2年度 決算額	1,726,450円	
令和3年度 事業所管課	市民センター 文化課			
事業内容	<p>1 柳田國男の『遠野物語』を生み、人々が築き上げてきた当市独特の景観を将来に残していくため、国の重要文化的景観選定地域である荒川高原牧場（荒川駒形神社を含む）及び土淵山口集落の保護を図る。</p> <p>2 荒川駒形神社については、保存計画に基づき、本殿屋根の修理に対する費用の補助を実施する。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 委員会開催（現地視察含む） 3回</p> <p>2 荒川駒形神社本殿屋根の修理への補助 1件</p>	評価	達成	
取組・成果	<p>1 経年劣化が進んでいた荒川高原牧場の重要な構成要素の一つである荒川駒形神社本殿屋根の修理に対する費用の補助を実施した。</p> <p>修理に当たっては「遠野の景観」保存調査委員会や、同委員会の建築専門の委員等による現地視察を実施するなどして、文化財としての価値を損なわない修理となるよう検討を重ねた上で行った。</p> <p>2 土淵山口集落については、市内外から訪れやすい環境や事業実施などについて、住民や市内移住者とも検討を重ねた。</p> <p>今後は、整備活用計画に基づきイベントの開催のほか、情報発信に努めるなどして、多くの人が行き交うことができるような事業を推進する。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 委員会開催（現地視察含む） 3回</p> <p>2 荒川駒形神社本殿屋根の修理への補助 1件</p>			

事業費名	遠野遺産認定事業費	令和2年度 決算額	1,141,396円	
令和3年度 事業所管課	市民センター 文化課			
事業内容	<p>1 市民から推薦される地域資源を「遠野遺産」として認定し、認定された遠野遺産の保護活用を支援することにより、市内にある文化的遺産、自然遺産を市民協働で次世代に守り伝え、活気ある地域づくりを推進する。</p> <p>2 活動の支援は、市民協働課との連携により、活動に対する補助金の適用、活動に対する助言等を行う。</p> <p>3 また、新たに認定された遠野遺産の表示板を設置し、竿頭綬を作成することにより遺産の啓発に努めるとともに、ガイドブックを発行して市内外に情報発信を行う。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 認定件数の増</p> <p>2 ガイドブック作成 3000部</p> <p>3 遠野遺産表示板設置 3基 / 文化財説明板設置 3基</p>	評価	達成	

取組・成果	<p>1 新規の遺産2件(第160号:遠野物語ファンタジー、第161号:鱒沢獅子踊り)、追加の遺産1件(第9号:山口の水車小屋とこんびり)を認定し、累計数が161件となった。</p> <p>2 遠野遺産表示板新規認定2基(第158号:長作堤防の記念碑とその周辺、第159号:踊り嘉兵エの墓)、追加認定1基(第51号:稲荷穴と白石稲荷神社)、修繕2基(第23号:呼ばれ石、第63号:鍋倉城跡)、文化財標柱修繕3基(イヌシデ、イヌザクラ、下関のエゾエノキ)、新規設置1基(上琴畑湿原)を設置するとともに、ガイドブック作成、広報遠野への掲載等による周知・情報発信に努め、遺産保護活動が促進された。</p> <p>3 みんなで築くふるさと遠野推進事業を活用した環境整備事業等12件(第14号:伊豆神社、第51号:稲荷穴と白石稲荷神社、第56号:荒川駒形神社、第59号:青笹八幡宮、第83号:八坂神社、第95号:母也明神と巫女塚、第100号:綾織駒形神社、第107号:塚沢神社と奉安殿、第134号:森ノ下の伊勢両宮神社、第127号:鱒沢四社・愛宕神社、第144号:新里の愛宕神社、第159号:踊り嘉兵エの墓)の保護事業が実施され、引き続き市民協働による地域づくりが推進された。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 認定件数の増 2件</p> <p>2 ガイドブック作成 3000部</p> <p>3 遠野遺産表示板設置 3基 / 遠野遺産表示板修繕 2基 / 文化財標柱修繕 3基 文化財標柱設置 1基</p>
-------	--

基本方針	3 ふるさとの文化の継承・創造
施策の方向	(3) 郷土の文化を生かした地域創造
施策の展開	<p>① 郷土文化の調査・研究の推進</p> <p>② 次世代へのふるさと文化の継承</p> <p>③ 市史編さん事業の推進</p>

施策の展開に係る 全体総括	<p>遠野物語発刊110周年を記念した展覧会を実施し、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮して映像や新聞、広報、インターネットなどを活用して、遠野の文化の魅力を国内外に広く発信することができた。遠野の文化を継承・発展する遠野こだわりの「語り部」を、小学校等と連携を図りながら発掘し、1000人の目標を達成した。</p> <p>また、市史編さん委員会を開催して事業計画の審議等を行うとともに、各専門部会で今後の刊行に向けた実務協議や資料調査を行った。市民の調査研究員と協働して古文書解読作業も進め、2冊目の『遠野市史叢書』を刊行した。</p> <p>さらに新たな施策「こども本の森構想」推進に向け準備室を設置し、事業化に向けた推進体制の構築に取り組んだ。</p>
課題	<p>遠野の文化を広く発信し、郷土の文化を担う人材の育成を図る。今後の市史の刊行に向けて具体的な作業を進め、市史編さん事業を着実に推進していく。</p> <p>こども本の森構想推進事業においては、市民へのさらなる周知や事業の具体化に向けた各種事務手続き及び様々な関係機関との調整・連携を早急に進める必要がある。</p>

事業費名	遠野文化調査研究費	令和2年度 決算額	14,418,500円	
令和3年度 事業所管課	市民センター 文化課			
事業内容	<p>遠野文化研究センターの設置目的に沿った遠野の地域文化の発掘・振興及び情報発信、活性化事業を行う。</p> <p>1 遠野文化賞・佐々木喜善賞の選考</p> <p>2 遠野文化フォーラム報告書の出版</p> <p>3 市民講座の実施と遠野文化友の会活動支援</p> <p>4 遠野文化研究センターホームページの運営</p>	評価	達成	

事業費名	こども本の森構想推進事業費	令和2年度 決算額	88,702,677円	
令和3年度 事業所管課	市民センター こども本の森運営企画室			
事業内容	<p>世界的建築家安藤忠雄氏は「東北復興のシンボルは子どもたちの未来である。子どもたちの未来のためには本、読書が大事ではないか」と提唱しており、この想いを形にするため、安藤氏が「こども本の森遠野」をつくり、遠野市に寄贈していただくものである。</p> <p>この施設を含むまちなかを、わらすっこが安心して想像力と創造力を育む居場所として位置付け、『遠野物語』発祥の遠野から世界に文化を発信するものである。</p> <p>また、沿岸被災地との文化のネットワークをつくる拠点でもあり、将来を見据えて子どもたちの夢と希望に向かっていくものである。</p> <p>子どもを地域で大切に育てることによって、その土地への「愛着心」が育まれることを期待している。</p> <p>1 こども本の森構想懇談会設置要綱による懇談会及びワーキンググループ会議の開催</p> <p>2 こども本の森遠野本の募集</p> <p>3 こども本の森遠野寄附の募集</p> <p>【計画値】</p> <p>1 懇談会及びワーキンググループ会議の開催 5回</p> <p>2 寄贈本 約10,000冊</p> <p>3 寄附額 5,000千円</p>	評価	達成	
取組・成果	<p>世界的建築家安藤忠雄氏から「子ども向け本の施設」整備の提案を受け、これまでの検討結果を踏まえ、市内外の関係者により構成される懇談会やワーキンググループを開催し、当該施設の望ましいあり方や運営体制の構築を図り施設整備に着手した。</p> <p>1 こども本の森構想懇談会設置要綱による懇談会等の開催</p> <p>(1) 懇談会 3回 29人/39人</p> <p>(2) ワーキンググループ会議 5回 58人/65人</p> <p>(3) ワーキンググループ視察研修 6人</p> <p>2 本の募集 令和2年10月1日～令和3年1月31日</p> <p>3 寄附の募集 令和2年10月1日～</p> <p>(1) 個人 62件 17,583,000円</p> <p>(2) 法人 28件 3,630,000円</p> <p>(3) ふるさと納税 230件 2,745,500円</p> <p>合計 320件 23,958,500円</p> <p>4 施設整備</p> <p>(1) 事業用地取得費 41,596,450円</p> <p>(2) 物件移転等補償費 9,327,852円</p> <p>(3) 土蔵改修等設計業委託料 2,200,000円</p> <p>(4) 本棚工事 工期を令和3年6月15日とし繰越事業とする</p> <p>5 図書の購入及び選書業務</p> <p>(1) 図書の購入 2,568冊 4,999,507円</p> <p>(2) 選書業務委託料 1,650,000円</p> <p>【実績値】</p> <p>1 懇談会 3回 / ワーキンググループ会議 5回</p> <p>2 寄贈本 18,420冊</p> <p>3 わらすっこ基金積立額 23,958,500円</p>			

事業費名	「遠野市史」編さん事業費	令和2年度 決算額	3,921,997円	
令和3年度 事業所管課	市民センター 文化課			
事業内容	<p>『遠野市史』『宮守村誌』は、いずれも昭和50年前後の刊行で、発刊から40年以上が経過している。その後の市村合併を含め、市政の大きな変換期をまとめた現代編や通史編の必要性が求められているとともに、歴史的資料や人々の暮らしに関わる資料の散逸、途絶なども懸念される。</p> <p>「永遠の日本のふるさと遠野」として後世に引き継ぐべき資料を収集整理しながら遠野の歴史、文化を総合的にまとめるため、市史の編さんを行う。</p> <p>1 令和5～6年度 資料編刊行 2 令和8～9年度 通史編、民俗編刊行 3 令和9年度 遠野南部氏遠野統治400年イベントの開催 ※平成28～令和8年度 編さん委員会、資料調査、執筆作業、収集資料を活用した講座などの開催による人材育成を進める。</p> <p>【計画値】 各年度の事業進捗率 100% 下記4項目（1項目25%）すべてを実施した場合 100%と設定</p> <p>1 市史編さん委員会開催 2 資料収集、調査 3 刊行のための実務作業 4 教育普及・広報</p>	評価	達成	
取組・成果	<p>1 市史編さん委員会を開催し、全体的な事業計画や編さん方針について審議を行い、編さん事業の円滑な推進を図った。委員会 2回（うち1回は書面諮問）</p> <p>2 専門部会委員や調査研究員等の協力のもと、資料の収集・調査、古文書解読作業を進め基礎資料の蓄積が図られた。</p> <p>(1) 通史編、民俗編に関する調査 30回 (2) 遠野南部家所蔵『御用留書』解読会 22回</p> <p>3 各専門部会で刊行に向けた実務協議を重ねたほか、2冊目の『遠野市史叢書』を刊行した。</p> <p>(1) 原始・古代・中世部会3回、近世部会1回、近現代部会1回、民俗部会3回 (2) 『遠野市史叢書 遠野南部家御用留書（嘉永上）』刊行 200部</p> <p>4 講座の開催や「市史編さん活動報告」の発行などにより、編さん活動を周知し、遠野の歴史に関する教育普及を図った。</p> <p>(1) 市史編さん講座 開催日：12/5 参加者：20人 ※ライブ配信実施 (2) 古文書講座 開催回数：3回 参加者：延べ29人 (3) 「市史編さん活動報告」を6月から毎月発行（図書館・博物館で配布、ホームページに掲載） (4) 市広報やホームページによる情報発信</p> <p>【実績値】 事業進捗率 100%</p> <p>1 市史編さん委員会開催 2 資料収集、調査実施 3 刊行のための実務作業実施 4 教育普及・広報活動実施</p>			

事業費名	新型コロナウイルス感染症予防対策事業費 (感染症予防物品購入(図書消毒器))	令和2年度 決算額	2,224,200円	
令和3年度 事業所管課	市民センター 文化課			
事業内容	<p>図書消毒器を施設(図書館、宮守ゆうYOUソフト館)に導入し、図書資料の紫外線による殺菌消毒処理を行える環境を整備し、感染拡大防止を図る。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 図書消毒機 2台</p>	評価	達成	
取組・成果	<p>不特定多数の方が扱う図書資料について消毒機を使用することで、ページ間の清掃、消毒殺菌、消臭・抗菌の処理を行うことが可能となり、感染予防対策を実施できた。</p> <p>また、図書館利用者は自身で処理を行えるよう館内に設置したことで、安心して処理を行った図書資料を利用できるようになった。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 図書消毒機 2台</p>			

事業費名	新型コロナウイルス感染症予防対策事業費 (市立図書館・博物館サーモグラフィ検温器購入)	令和2年度 決算額	1,311,046円	
令和3年度 事業所管課	市民センター 文化課			
事業内容	<p>1 図書館、博物館それぞれの入口にサーマルカメラを設置し、新型コロナウイルス感染が疑われる発熱者を覚知した場合、当該者及び同行者に対し入館を制限することで他の来館者への感染拡大防止を図る。</p> <p>2 覚知した発熱者等に対して入館制限等の説明及び再検温を行う。</p> <p>3 来館者が感染者となった場合に備え、来館者の連絡先を把握しておく。</p> <p>4 発熱者が覚知された場合、職員全員が対応できるようにする。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 サーマルカメラ(一式) 2カ所</p> <p>2 発熱者待機室 1カ所</p>	評価	達成	
取組・成果	<p>1 サーマルカメラと併せて、来館者が自分の体温を確認することができるようモニターを設置したことで、確実に検温が行われ感染防止に努めることができた。</p> <p>2 入館制限等の説明と検知体温が外気温等に起因しているかなどを判断するため、一定時間をおいてから再検温ができるよう発熱者待機室を設置した。</p> <p>3 図書館及び博物館入口に入館記録票を備え付け、来館者全員に記入してもらうことで入館者を把握することができた。</p> <p>4 発熱者を覚知した場合、職員全員が対応できるよう発熱者対応マニュアル及び対応記録簿を作成し対応シミュレーションを実施した。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 サーマルカメラ(一式) 2カ所</p> <p>2 発熱者待機室 1カ所</p>			

基本方針	4 健康づくりの推進
施策の方向	(1) 健康づくり活動の推進
施策の展開	① 健康づくり総合プログラムの推進 ② スポーツの振興

施策の展開に係る 全体総括	<p>新型コロナウイルスの感染拡大により、健康づくり事業やスポーツ教室、スポーツ大会が予定どおり実施できなかったほか、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の延期により、事前合宿も中止となった。</p> <p>しかしながら、感染防止対策を講じることにより可能な事業の実施に努め、市民の運動機会の提供や習慣化の推進、スポーツ団体の運営支援による競技スポーツの普及とレベルアップを図った。</p> <p>また、パラスポーツを通じた障がい理解の普及に努め、「心のバリアフリー」の推進に取り組んだ。</p>
課題	<p>ウイズコロナを見据え、市民のニーズに対応できるような事業展開に努め、健康づくりの推進や競技スポーツの振興を図るとともに、スポーツ合宿や大会の誘致などによる地域の活性化、スポーツによる共生社会の実現などに取り組む。</p>

事業費名	健康スポーツプログラム推進事業費	令和2年度 決算額	1,738,000円	
令和3年度 事業所管課	市民センター 生涯学習スポーツ課			
事業内容	<p>市民センターを会場とするスポーツ教室を、年間を通じて開催し継続的な運動機会の提供による市民のスポーツ活動への参画を促す。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 健康スポーツプログラム参加者数 2,100人</p>	評価	概ね達成	
取組・成果	<p>コロナ禍により春の教室を一部中止したが、6月以降は感染防止対策を講じながらアクアフィットネス・リズム体操・エクササイズの3コースの教室を開催し、運動機会を提供することができた。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 健康スポーツプログラム参加者数 1,999人（対計画値 95.2%）</p>			

事業費名	子どもの体力づくりプログラム推進事業費	令和2年度 決算額	508,200円	
令和3年度 事業所管課	市民センター 生涯学習スポーツ課			
事業内容	<p>幼少期におけるバランス感覚や運動能力の向上を図るため、市内の保育園児等を対象とするリズム体操教室を実施する。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 キッズ元気アップ応援隊参加者数 1,550人</p>	評価	未達成	
取組・成果	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施を見送る施設もあったが、13カ所の保育園等で延べ70回のリズム体操教室を実施し、子どもたちに運動することの楽しさを体験させることができた。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 キッズ元気アップ応援隊参加者数 1,107人（対計画値 71.4%）</p>			

事業費名	競技・イベントスポーツプログラム推進事業費	令和2年度 決算額	11,928,189円	
令和3年度 事業所管課	市民センター 生涯学習スポーツ課			
事業内容	<p>1 市体育協会や市スポーツ少年団の運営のほか、子どもたちを対象としたジュニアスポーツレベルアップ事業や全国大会等への出場を支援し、幅広い年代のスポーツ活動や選手の育成を図る。</p> <p>2 市外からのスポーツ合宿を誘致し、スポーツ施設の利活用を促進する。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 スポーツ団体運営等補助 4団体</p> <p>2 スポーツ合宿支援件数 3件</p>	評価	達成	
取組・成果	<p>1 県民体育大会など多くの大会は中止となったが、新型コロナウイルスの感染状況を見極めながら、大会や事業を実施した。また、サッカーや陸上競技、野球などで多くの子どもたちが活躍し、市民にとって明るい話題となった。</p> <p>2 (公財)日本ボート協会のシニアナショナルチームが市内に宿泊して合宿を行い、全国から集まった参加者に遠野市をPRすることができた。このほか、県内のサッカーチームも合宿を行い、市内のスポーツ施設を活用してトレーニングを実施した。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 スポーツ団体運営等補助 4団体 (対計画値 100%)</p> <p>2 スポーツ合宿支援件数 3件 (対計画値 100%)</p>			

事業費名	先導的共生社会ホストタウン推進事業費	令和2年度 決算額	2,515,432円	
令和3年度 事業所管課	市民センター パラリンピック推進室			
事業内容	<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に当たり、大会に向けた機運醸成と大会後のレガシーを創出するため、ブラジルを相手国とする「ホストタウン交流」、「共生社会の実現」に向けた取組を推進する。</p> <p>1 パラリンピック競技5人制サッカーブラジル代表チームの事前合宿受入</p> <p>2 子どもたちをはじめ、市民を交えてのホストタウン交流事業</p> <p>3 「心のバリアフリー」の取組</p> <p>【計画値】</p> <p>1 パラリンピック競技5人制サッカーブラジル代表チーム事前合宿受入</p>	評価	概ね達成	
取組・成果	<p>1 新型コロナウイルス感染症の影響により大会が延期となったため、大会前の事前合宿は中止となった。</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症の影響によりブラジルとの交流は様々な制約を受けての実施となったが、子どもたちをはじめ多くの市民が参画し、応援メッセージ動画等を制作したほか、SNS等を活用した交流により2021年の大会や大会後の交流に向けて取り組んだ。</p> <p>3 障がい理解及びパラスポーツの普及促進を図るため、パラスポーツを通じた教室や研修の場を提供し、「心のバリアフリー」の推進に努めた。</p> <p>また、市民みんなで取り組む活動として「遠野市共生社会実践事業者認定制度」を創設したほか、1月には「共生社会フォーラムinとおの」を開催し、共生社会の実現に向け、市民の機運の醸成を図った。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 パラリンピック競技5人制サッカーブラジル代表チーム事前合宿受入中止</p> <p>2 遠野市共生社会実践事業者認定事業者数 41事業者</p> <p>3 「共生社会フォーラムinとおの」の開催</p>			

基本方針	4 健康づくりの推進
施策の方向	(1) 健康づくり活動の推進
施策の展開	③ 食育の推進

施策の展開に係る全体総括	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大により、食育講座や講演会において密集を避けた人数制限及び対象を最小限の範囲に限定して開催するなど、食生活改善推進員と連携しながら活動を行った。</p> <p>また、遠野テレビや広報を活用した情報発信を行った。</p>
課題	<p>朝食を食べる小中学生の割合については、減少傾向にあることから食に関する正しい知識と朝食を摂ることの大切さについて自覚できるような支援と環境づくりを引き続き行う必要がある。</p> <p>体験を伴う事業については、人数制限等の新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた実施内容の検討が必要である。</p>

事業費名	ぱすぼる推進事業費	令和2年度 決算額	899,833円	
令和3年度 事業所管課	子育て応援部 総合食育課 / 学校給食センター			
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 食べ物が育てる元気なおのっこ事業 <ol style="list-style-type: none"> 各年代に合わせた食育事業を通し、健康への理解や食文化の学びから、生活の質の向上や実践する力の糧となるよう情報の発信や支援を行う。 食生活改善推進員の組織育成事業 <ol style="list-style-type: none"> 食育推進の共同体である健康づくりサポーター（食生活改善推進員）の事務局として、組織の資質向上を支援する。 食育推進ネットワーク会議及び食育推進協力店の活動支援 <ol style="list-style-type: none"> 第2次遠野市食育推進計画とおのっこプランの推進母体である「遠野市食育推進ネットワーク会議」を通して、市民へ食に関する情報を発信し、健康意識の向上を図る。 市内外の団体や企業との共催により、とおのっこプランに基づいた体験型のイベントを開催し、市民一人ひとりが食について学ぶきっかけづくりを行う。 第3次遠野市食育推進計画とおのっこプランの策定 <ol style="list-style-type: none"> 国の食育基本法に基づく市町村食育推進計画として位置付ける第2次計画期間の満了に伴い、第3次食育推進計画を策定する。 <p>【計画値】</p> <ol style="list-style-type: none"> 朝食を食べる小中学生の割合 95.0% <p>※ 朝食から始まる健全な食生活の定着を図る。</p>	評価	概ね達成	
取組・成果	<ol style="list-style-type: none"> 各年代に合わせた食育講座や講演会を開催した。 <ol style="list-style-type: none"> 受講者は人数及び学年を限定し講話を中心に開催した。朝ごはんの効果や規則正しい食生活習慣、遠野に伝わる郷土食について学び、自分の身体を守る力や郷土への理解を深めた。 市内食品小売店の協力のもと、野菜・乳製品等の摂取量増加や食を通した健康づくりリーフレットを配布し、食の環境整備を推進した。 母子保健の定期健診に合わせ子育て中の食育など、母親と子どもの将来につながる心と身体づくりの講話を行った。 食生活改善推進員の活動に必要な知識や技術向上のための支援を行ったほか、遠野テレビや広報を通じて食育レシピを発信し、おうち時間を利用した食育の普及を行った。 市内食育推進協力店と共催で食育イベントを開催し、活動の広報や情報発信を行った。 市民ワーキング等を行い関係機関や団体、市民一人ひとりが食育を実行するための「第3次遠野市食育推進計画とおのっこプラン」を策定した。 			

取組・成果	【実績値】
	1 朝食を食べる小中学生の割合 93.5% / 内訳：小学生 96.9%、中学生 83.1%
	2 食育講座・講演会：小学生 17回/140人、中学生 2回/468人、高校生 4回/311人 中高年 8回/674人、母子保健事業食指導 22回
	3 食生活改善推進員の育成研修会：26回/199人
	4 食育推進ネットワーク会議：2回/45人
5 食育推進協力店共催食育イベント：1回/61人	

基本方針	5 子育て支援の推進
施策の方向	(1) 少子化対策・子育て支援
施策の展開	① 少子化対策・子育て支援総合プランの推進 ② 子育て支援の充実

施策の展開に係る 全体総括	<p>わらすっこプランに基づき、少子化対策・子育て支援施策の充実を図るため、子育て世代のニーズを踏まえた施策を推進した。</p> <p>病児等保育施設、児童館及び児童クラブ、ファミリー・サポート・センター事業の実施により、子育てと就労等との両立の支援を図った。</p> <p>わらすっこ基金事業として、子どもが健やかに育つ環境づくりを普及・推進する活動団体に対する助成のほか、新たな取組として、子どものスポーツ・文化活動に係る市の施設使用料を無償とし、子育てを地域で支えるまちづくりを推進した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策として、子育て施設ヘルパー派遣、児童館等衛生環境整備、元気わらすっこセンターサーモグラフィ検温器購入、保育施設等衛生環境整備・感染症対策の各事業を実施し、子育て関連施設の衛生環境対策を図った。</p>
課題	<p>建物の老朽化が進んだ白岩児童館について、遠野北小学校エリアの環境整備による子どもの居場所づくりを推進するため、関係機関と連携し白岩保育園の改築、周辺市道の整備も含めた具体的検討を進める。</p> <p>ファミリー・サポート・センター事業は、地域での子育て支援体制を整備するため更なる周知を図る。</p>

事業費名	看護保育安心サポート事業費	令和2年度 決算額	13,571,565円	
令和3年度 事業所管課	子育て応援部 こども政策課			
事業内容	<p>保護者が就労している等の理由により、子どもが病気の際に自宅での保育が困難な場合に対応するため、遠野市病児等保育施設「わらっぺホーム」において病気の児童を一時的に保育することで、安心して子育てができる環境を維持し、仕事と子育ての両立を支援する。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 開設日数 240日 2 登録者数 200人 3 利用者数 500人</p>	評価	概ね達成	
取組・成果	<p>病児等保育の需要が高まっているなか、「わらっぺホーム」の運営を社会福祉法人遠野市保育協会に委託し、保護者が安心して子どもを預けることができる環境の充実を図った。</p> <p>例年と比較し実績値は大幅に減少したが、新型コロナウイルス感染症対策のため施設の利用を制限した結果であり、安心して子どもを預けられる施設機能の維持に努めた。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 開設日数 226日 2 登録者数 121人 3 利用者延べ人数 196人（1日平均利用者数 0.87人） 4 利用者実数 64人</p>			

事業費名	わらすっこの居場所事業費	令和2年度 決算額	113,948,743円	
令和3年度 事業所管課	子育て応援部 こども政策課			
事業内容	<p>1 両親が働いているなど、日中家庭に保護者がいない児童の放課後の健全育成を図るため、児童館や児童クラブを利用した学童保育を行うとともに、健全な遊びを通し、児童の健康増進と豊かな情操を育む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童館指定管理委託（遠野、綾織、附馬牛、白岩、青笹、上郷、宮守） ・児童クラブ運營業務委託（小友、土淵、達曾部、鱒沢） ・児童館及び児童クラブ育成団体等運営費補助（11団体） <p>2 貧困等様々な課題を抱える子どもやその保護者への食事提供と併せて、学習支援・体験活動を実施する「子どもの居場所」づくりに取り組む団体等に対し支援することで、子どもの将来がその生まれ育った環境に左右されることなく、健やかに成長することができる環境の整備を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの居場所づくり推進事業費補助（1団体） <p>【計画値】</p> <p>1 児童館 7カ所 / 児童クラブ 4カ所 / 利用延べ人数 140,000人 / 育成団体等運営費補助 11団体</p> <p>2 居場所づくり推進事業費補助 1団体</p>	評価	概ね達成	
取組・成果	<p>1 放課後等における児童の居場所づくりとして、社会福祉法人遠野市保育協会に児童館・児童クラブの管理運営を委託し、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、発達段階に応じた遊びを提供し、児童の自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣等の健全育成を図った。</p> <p>児童館及び児童クラブの利用保護者会に対し、親子行事や遊びを通じた活動事業を支援するため補助金を交付した。</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症対策のため子どもの居場所活動が制限されるなか、新たな子どもの居場所設置のための補助実績はなかった。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 児童館 7カ所 / 児童クラブ 4カ所 / 利用延べ人数 134,407人 / 育成団体等運営費補助 11団体</p> <p>2 居場所づくり推進事業費補助 0団体</p>			

事業費名	みんなで応援子育てのまち推進事業費	令和2年度 決算額	19,851,361円	
令和3年度 事業所管課	子育て応援部 こども政策課			
事業内容	<p>1 わらすっこプラン推進事業 第2次遠野市少子化対策・子ども・子育て支援総合計画（通称：遠野わらすっこプラン）に基づき、市内の子どもや保護者だけでなく、子どもの権利を保障する大人（保護者、地域、学校、事業者）も対象とした事業を展開する。</p> <p>2 わらすっこ基金助成事業 遠野市わらすっこ基金助成要綱に基づき、地域社会で子どもが健やかに育つ環境づくりの活動を普及・推進するため、遠野市わらすっこ基金を活用し助成金を交付する。</p> <p>また、子どもたちの団体活動の促進と子育て支援を推進するため、部活動やスポーツ少年団活動に係る市の施設使用料について、わらすっこ基金を活用し無償化する。</p> <p>3 わらすっこ応援券交付事業 遠野市わらすっこ誕生応援事業実施要綱に基づき、新生児の保護者に写真立てと1万円分のわらすっこ応援券を贈呈する。</p>	評価	概ね達成	

事業内容	【計画値】 1 わらすっこ条例応援認定事業者 1事業所 2 わらすっこ基金助成金交付 4団体 施設使用料サポート事業助成金交付 28団体 3 写真立て等贈呈人数 150人		
取組・成果	1 わらすっこプラン推進事業 地域全体で子育てを応援する環境づくりとして、子育て支援を積極的に実施している事業所をわらすっこ条例応援認定事業者に認定した。 2 わらすっこ基金助成事業 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、イベントの中止、活動の休止などに伴い、わらすっこ基金助成の申請は無かった。 子どものスポーツ・文化活動に係る市の施設使用料を無償化することにより、子どもの活躍をみんなで応援し、子育てを地域で支えるまちづくりを推進した。 3 わらすっこ応援券交付事業 出生のお祝いとして、市内産の木材で作成した写真立てと1万円分のわらすっこ応援券を贈呈した。 【実績値】 1 わらすっこ条例応援認定事業者 5事業所 2 わらすっこ基金助成金交付 0団体 施設使用料サポート事業助成金交付 29団体 3 写真立て等贈呈人数 117人		

事業費名	ファミリー・サポート・センター推進事業費	令和2年度 決算額	3,258,644円
令和3年度 事業所管課	子育て応援部 こども政策課		
事業内容	育児を援助したい人（まかせて会員）と育児の援助を受けたい人（おねがい会員）を会員として組織化し、地域において会員同士が行う相互援助活動を支援し、子育てをする者が安心して働くことができる環境を整備するとともに、児童の福祉の向上を目指し、地域での子育て支援機能の強化に向けた体制をつくる。 【計画値】 1 年間依頼件数 45件 2 講習会（9科目） 24時間 3 交流会 2回	評価	達成
取組・成果	ファミリー・サポート・センターを運営し、地域で子どもを育てる相互援助活動を支援することで、子育て支援の環境整備を推進した。 おねがい会員が安心して援助活動を依頼することができるよう、まかせて会員のスキルアップ講習会を開催するとともに、両会員の親睦や情報交換の場として交流会を開催し、親睦を深めた。 【実績値】 1 年間依頼件数 92件 2 講習会（9科目） 24時間 3 交流会 2回		

事業費名	未来へつなぐこども家庭支援事業費	令和2年度 決算額	5,827,996円	
令和3年度 事業所管課	子育て応援部 こども政策課			
事業内容	<p>遠野市子ども家庭総合支援拠点を設置し、要保護児童対策地域協議会の機能を充実させ、保健・医療、教育等の関係機関と連携しながら、子どもやその保護者へ支援を行い、児童虐待の発生防止を図る。</p> <p>1 遠野市要保護児童対策地域協議会代表者会議・実務者会議により児童虐待ケースを管理し、継続した支援を実施する。</p> <p>2 児童虐待、DVに関する相談等に対応する。</p> <p>3 児童虐待防止のオレンジリボン、DV防止のパープルリボンについて周知活動を行う。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 遠野市要保護児童対策地域協議会 ・代表者会議 1回 ・実務者会議 4回</p> <p>2 オレンジ・パープルリボン周知活動 1回</p>	評価	達成	
取組・成果	<p>1 遠野市要保護児童対策地域協議会において、代表者会議を1回、実務者会議を4回開催し、要保護児童への支援について進行管理を行った。</p> <p>・令和元年度からの継続58件、令和2年度新規19件、終結34件。</p> <p>2 ケースの支援計画をもとに継続して関わり、解決に向けて支援した。</p> <p>・児童虐待相談 471件、障がい・育成相談36件、女性相談 282件対応。</p> <p>3 児童虐待防止・DV防止推進月間に合わせ、オレンジリボン、パープルリボンをショッピングセンターとびあにて配布した。</p> <p>市内保育園・幼稚園の園児へ、児童虐待防止メッセージ入り野菜の種を配布し、家庭への児童虐待防止について周知を図った。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 遠野市要保護児童対策地域協議会 ・代表者会議 1回 ・実務者会議 4回</p> <p>2 オレンジ・パープルリボン周知活動 1回</p>			

事業費名	子育て家庭ヘルパー派遣事業費	令和2年度 決算額	3,304,604円	
令和3年度 事業所管課	子育て応援部 こども政策課			
事業内容	<p>養育支援が特に必要と認める家庭に対し、専門的相談または掃除・洗濯・買い物等の家事援助を行う子育て家庭ヘルパーを派遣することにより、地域の子育て支援機能の強化と児童福祉の向上を図り、児童虐待を防止する。</p> <p>1 専門職による養育相談対応</p> <p>2 要支援家庭への子育て家庭ヘルパーの派遣</p> <p>3 地域での子育てを支援する意識を醸成し、子育て家庭ヘルパーを確保する。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 子育て家庭ヘルパー委託者 3人</p>	評価	達成	
取組・成果	<p>1 専門的相談件数は194件であった。</p> <p>2 養育支援を特に必要と認める家庭に対して、子育て家庭ヘルパーの派遣を調整したが、専門的相談で養育上の問題の解決につながった。</p> <p>3 子育て家庭ヘルパーを4人確保することができた。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 子育て家庭ヘルパー委託者 4人</p>			

事業費名	児童館施設整備事業費	令和2年度 決算額	23,588,320円	
令和3年度 事業所管課	子育て応援部 こども政策課			
事業内容	<p>利用児童の増加に伴い手狭となった青笹児童館について拡張工事を行い、放課後において子どもの健全に過ごすことができる居場所の充実を図る。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 青笹児童館拡張工事 29.99㎡</p>	評価	達成	
取組・成果	<p>児童館の拡張により、より快適な環境のもと多くの児童の受け入れが可能となり、放課後において子どもたちが健全に過ごすことができる居場所の充実が図られた。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 青笹児童館拡張工事 29.99㎡</p>			

事業費名	新型コロナウイルス感染症予防対策事業費 (子育て施設ヘルパー派遣)	令和2年度 決算額	1,389,208円	
令和3年度 事業所管課	子育て応援部 こども政策課			
事業内容	<p>令和2年7月から、保育園及び児童館等の施設の環境整備(遊具や施設内の消毒など)を行い、利用する子どもたちの新型コロナウイルス感染症拡大防止対策及び施設職員の業務負担軽減を図る。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 対象施設 28カ所</p>	評価	達成	
取組・成果	<p>消毒作業の実施により施設の清潔な環境を維持するとともに、施設職員が本来業務に専念することが出来る一助とした。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 対象施設 28カ所</p> <p>2 ヘルパー 10人</p> <p>3 消毒作業延べ回数 654回</p>			

事業費名	新型コロナウイルス感染症予防対策事業費 (児童館等衛生環境整備)	令和2年度 決算額	6,969,600円	
令和3年度 事業所管課	子育て応援部 こども政策課			
事業内容	<p>新型コロナウイルス感染症拡大による学校の臨時休業に際し、児童館及び児童クラブで過ごす児童が熱中症となることを予防するため、エアコン未整備の児童館及び児童クラブにエアコンを設置する。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 対象施設 5カ所</p>	評価	達成	
取組・成果	<p>エアコン未整備の児童館及び児童クラブにエアコンを設置し、感染症拡大による学校の臨時休業における利用児童の熱中症対策が図られた。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 対象施設 5カ所</p>			

事業費名	新型コロナウイルス感染症予防対策事業費 (元気わらすっこセンターサーモグラフィ検温器購入)	令和2年度 決算額	480,700円	
令和3年度 事業所管課	子育て応援部 こども政策課			
事業内容	元気わらすっこセンター(東館庁舎)に新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、サーマルカメラを設置する。 【計画値】 1 サーマルカメラ設置 一式	評価	達成	
取組・成果	サーマルカメラを設置したことにより、来庁者を非接触で効率的に検温を実施することができる体制整備が図られた。 【計画値】 1 サーマルカメラ設置 一式			

事業費名	新型コロナウイルス感染症予防対策事業費 (保育施設等衛生環境整備・感染症対策)	令和2年度 決算額	7,321,875円	
令和3年度 事業所管課	子育て応援部 こども政策課			
事業内容	保育園及び児童館等において、新型コロナウイルス感染症対策の徹底による継続的なサービスの提供を行うため、感染拡大防止対策として必要な物品を配布し施設設置者の支援を図る。 【計画値】 1 保育所等 14園 2 児童館・児童クラブ 11施設 3 子育て支援拠点事業等 5事業	評価	達成	
取組・成果	接触機会の軽減や適切な施設環境を保つため、非接触型体温計や足踏み式消毒液スタンド、除加湿機能付空気清浄機を設置するとともに、手指用消毒アルコール等の消耗品を配布し、施設設置者への支援を図った。 【計画値】 1 保育所等 14園 2 児童館・児童クラブ 11施設 3 子育て支援拠点事業等 5事業			

IV 外部評価の実施

令和3年11月11日（木）に、「遠野市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況（令和2年度実施事業）の外部評価会議」を開催し、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定により、学識経験を有する5名の外部評価員に、15ページから58ページまでの「Ⅲ 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況と点検評価の結果」の内容について、下記のとおり意見等をいただきました。

【外部評価員】

（敬称略）

氏名	役職
小 向 敏 夫	遠野市校長会（遠野中学校長）
菊 地 セツ子	遠野市食生活改善推進員団体連絡協議会 会長
小 友 福 子	遠野遺産認定調査委員会 委員、鱒沢地区地域教育協議会 会長
新 田 光 志	遠野市芸術文化協会 会長
多 田 宜 史	遠野市PTA連合会 会長

【外部評価員からの主な意見、質疑等】

評価書ページ	事業費名 （発言者）	主な意見、質疑等
全体	評価全般に関して （多田評価員）	<ul style="list-style-type: none"> ● 評価における各事務事業の目的の明示と判断基準について ▶ 目的を明記してはどうか。計画値・実績値は分かりやすく良いが、数字によって判断されてしまうのでは。目的と内容を分けて書くとは分かりやすいのではないか。 ▷ 昨年度のご意見を踏まえ、今回は目的についてもなるべく事業内容に記載するようにした。 来年度に向けて、検討していきたい。
16	保育所等運営事業費 （保育所運営委託） （多田評価員）	<ul style="list-style-type: none"> ● 計画値に対する実績値比較の判断、副食費助成について ▶ 計画値 890 人、実績値 760 人だが、この数値だけで評価する方がいたら、判断が難しくなってくると思う。（意見） ▶ 副食費助成は、令和元年度は 1,387 人だったが、これは国からの助成があったので全部できたということで良いか。 ▷ 副食費助成は、年度途中の 10 月から開始したことから、実績としては、この人数になっている。
18	体育・文化行事奨励費 （多田評価員）	<ul style="list-style-type: none"> ● 生徒の部活動と地域型スポーツについて ▶ 令和元年度にも中学校部活動に関して、子ども達が部活で疲弊して勉強がおろそかになっているのではと指摘したが、令和5年度から部活を地域に移管すると聞いた。中学での部活ではなく、小学生から続けている水泳を中学でも続けたいという子がいるので、民間団体に相談したところ、これから地域で子どもの活動をフォローアップしていくという流れになっているということであった。民間において取り組んでいるところもあることから、このように、子ども達の選択肢が広がってほしいと思う。

評価書 ページ	事業費名 (発言者)	主な意見、質疑等
18	体育・文化行事奨励費 (多田評価員)	▷ 令和5年度からの地域移行に向けて国は動いており、地域で子ども達の多様化した活動を保障していくように全国的に進められている。今後、移行を進める中で、段階的に地域の情報を集約し、地域のスポーツや文化活動と学校での部活動の整理がなされていけばよいと考える。
18	体育・文化行事奨励費 (小友評価員)	<p>● 「遠野の夢」をテーマにした子どもたちの創作活動について</p> <p>▶ 遠野物語発刊110周年のイベント等がコロナで縮小されてしまい残念に思っている。 2027年には清心尼公の遠野入部400年の節目の年を迎える。 「遠野の夢」をテーマに作文・絵画を生涯学習や文化、児童生徒等いろんな分野とコラボして、段階的・計画的にイベントを行いSNSなどで発信していったらどうか。</p> <p>▷ 大きな節目に合わせて計画的に行うのは大事なこと。令和9年は遠野南部氏が遠野に入部して400年を迎え、遠野の文化にとっても大きな節目になる。文化だけでなく、全庁的な取組、大きな取組を今後、計画的に考えていきたい。</p> <p>▷ 社会教育分野としては、少年少女ふるさと発見探偵団を実施しており、年度ごとに計画的にテーマを見据えながら事業を展開していきたい。</p>
18	体育・文化行事奨励費 (小向評価員)	<p>● 各種競技環境の充実について</p> <p>▶ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、県大会が中止になった中で、地区大会として中総体・中文祭が開催できたことに感謝している。 いろんな方面から言われることで、陸上競技場の全天候型タータンへの改修を考えてほしい。</p> <p>▷ 陸上競技協会からの要望を受けているが、整備費用が高額なため慎重に検討を進めている。</p>
19	外国語指導助手招へい事業費 (多田評価員)	<p>● 外国語指導助手（ALT）の任用について</p> <p>▶ ALTが令和3年10月に代わったが、年度途中で交代するのは子どもにとって、また一から信頼関係を築くことになり影響が大きい。派遣会社を使っているだろうが、市で直接雇用することはできないのか。</p> <p>▷ コロナの関係で、ALT個人の事情により年度途中で帰国したケースがあった。今後は、そのような事が続かないように業者をお願いしている。 直接雇用となると、一人が休んだ時のバックアップや生活面等の支援も事務局で行うことになり難しい。多くの市町村でも同じ形態を取っており、このままの形で進めていきたい。</p>
20	令和・南部藩寺子屋交流事業費 (菊地評価員)	<p>● 交流事業の内容・充実について</p> <p>▶ 何か一つでも目的がないから、未達成なのではないか。 決算額は0円になっているが、目的、交流内容のために使える金額はどのくらいか。</p> <p>▷ 通常は60万円ほどの予算額である。 交流事業を通じて、参加児童をリーダーとして育成するという目的がある。学んだことを各学校に戻って発揮してもらおうプログラムになっている。</p>

評価書 ページ	事業費名 (発言者)	主な意見、質疑等
21	学力向上対策事業費 (小友評価員)	<p>● 児童・生徒の習熟度向上への地域人材の関りについて</p> <p>▶ 地域の方がボランティアで学習指導を行っているか。盛岡で勤務していた時に、地域の方や保護者などが学習ボランティアとしてきていた。各教室に入り指導することで、拾い上げができたと思う。 コミュニティ・スクールなどで行ってもいいのではないか。</p> <p>▷ 現在、遠野市では行っていない。今後コミュニティ・スクールとして行うとなれば可能である。市としては、支援員などを配置して、複数の職員により、児童生徒を個別支援できるようにしている。</p> <p>▶ コミュニティ・スクールが令和4年度から導入とのこと、今までの地教協から学校評価を抜いたものが地教協に残るということか。</p> <p>▷ 学校評価に関しては、学校運営協議会で行うことになっている。学校運営協議会で承認された方針に基づいた地域での活動を地教協や地域の方々へ支援していただく。残るという捉え方でよい。</p>
21	学力向上対策事業費 (多田評価員)	<p>● いじめ・不登校対策について</p> <p>▶ 全体の中に、いじめや不登校に対する事業はあるのか。ないのであれば、何故ないのか。 GIGAスクールで一人一台端末があるが、そこにいじめのホットラインのようなものは作れないだろうか。 生徒指導推進協議会で岩手県では本人からのいじめの相談が少ないと聞いた。子どもが相談窓口を分かれば認知件数も初期対応も早くなるのではないか。</p> <p>▷ 不登校や生徒指導に関わる事業は学力向上対策事業費の中に位置づいている。不登校対策は、指導主事や教育相談員の配置、適応指導教室での学習指導等を行っている。 端末については、現在はSNS等には繋がらない設定になっている。そこを検討してどこまでオープンにできるかになる。学校の端末を介したSNSでのいじめ事案が全国で発生したばかりなので、慎重に検討していきたい。SOSダイヤル等については毎年周知しており、そこから学校にフィードバックした事例もある。様々な相談窓口を子どもたちに周知していく取組は継続していきたい。</p>
33	高校魅力化サポート 事業費 (新田評価員)	<p>● 高校における学力向上と中高連携の充実について</p> <p>▶ 通学補助金はどういう経緯で行うことになったのか。</p> <p>▷ 中高生へのアンケート調査において、魅力化に関するものを拾い、その中から事業化している。遠野の高校進学の魅力の一つになっている。</p> <p>▶ 中学校での進路指導が大きな影響力があると思う。大学進学を前提とした高校普通科進学に関して、市外希望が多いという認識になっている。少子化が理由ではないと思う。PTA、生徒や先生に何が重要かということきちっと個別に聞いた方がいいと思う。 学力の高さや進学実績が魅力になる。根本的に必要とされるポイントを見つけていってはどうか。</p> <p>▷ 学力を含め様々な分野で、市内2校の魅力を高めるという事業を行っている。今年は地元高校2校の学校見学会を保護者対象に実施し、地元高校への理解を深める取組も始めた。 市高校魅力化推進協議会の中には両校の校長先生方にも入ってもらっているので、ご意見を参考にしながら取り組んでいきたい。</p>

評価書 ページ	事業費名 (発言者)	主な意見、質疑等
35	学びのまちづくり推進事業費 (小友評価員)	<p>● 今後の地域組織の在り方について</p> <p>▶ コミュニティ・スクールを支える地域組織については、地域によっては地教協でなくても機能するのではないかと。地域は少子高齢化だけでなく、人口そのものが減少している。同じ人が多くの役を担っている。もう少し組織を整理してもいいのではないかと。</p> <p>▷ 令和2年度のコミュニティ・スクールに関する取組みは、地域で子どもを育てる活動発表会で説明させていただいたことがスタートになったと思う。令和3年度は、各町で熟議体験等を開催している。当初は地域の受け皿となる組織について、地教協を中心に進めていこうと考えていたが、地域事情を聞いていく中で、人材不足と役員の重複という課題がある。コミュニティ・スクールを支える地域の組織・団体の在り方や見直しの検討も必要と考えており、地域の事情に合わせた良い形にもっていききたい。</p>
35	学びのまちづくり推進事業費 (多田評価員)	<p>● 昨年比事業費増の要因と「アダージオ」の経営状況について</p> <p>▶ コロナによって事業が中止になっているなかで、元年度より決算額が増えているのはなぜか。 アダージオは黒字経営なのか。</p> <p>▷ 遠野みらい創りカレッジの事業が人材育成・生涯学習の分野だということで、事業統合したことによって決算額が多くなっている。 アダージオは、社団法人みらいづくりカレッジの自主事業で行っている。市からは補助金等はない。経営努力をして頑張っている。</p>
37	青少年健全育成活動事業費 (多田評価員)	<p>● 評価基準について</p> <p>▶ 青少年健全育成活動事業費もだが、計画値と実績値は違うが、実施しているので達成でいいのではないかと。数値だけでの評価判断にしないでいいのではないかと。</p> <p>▷ 今後検討していきたい。</p>
38	芸術文化振興事業費 (新田評価員)	<p>● 小中高生の芸術祭参加による事業の充実と冠事業名称を活用した芸術祭の盛上げについて</p> <p>▶ 芸術祭が開催できて良かった。コロナ禍で人数制限したが、かなりの来場があった。市民全体のお祭りにしたい。今は小中高生の作品は展示していない。今回は、協力をいただいて普段作っている作品を展示していただいた。市民にも喜んでいただいた。これを来年以降も続けられるよう協力をお願いしたい。</p> <p>▶ 以前は芸術祭期間というものがあった。その日に参加できなくても、期間内で芸術祭参加事業のような冠事業名称の活用を復活してみてもどうか。市にもバックアップしていただきたい。</p> <p>▷ 令和2年度に作成した「学びのいずみ」という冊子に登録されているような音楽教育などの参加が今年度はコロナの影響なのか、あまり見られなかった。期間で参加事業というのは良いと思うので、参考にさせていただく。</p>
38	新型コロナウイルス感染症予防対策事業費 (成人式オンライン配信事業) (多田評価員)	<p>● 評価基準について</p> <p>▶ 評価が未達成となっているが、機会が確保できたのだから達成でいいのではないかと。数値だけでの評価判断にしないでいいのではないかと。</p> <p>▷ 今後検討していきたい。</p>

評価書 ページ	事業費名 (発言者)	主な意見、質疑等
39	博物館費 (多田評価員)	<p>● 博物館展示物資料のデジタルデータ公開による市民活用の充実</p> <p>▶ 「遠野領内図」の特別展がとても良いものだった。市民に公開できる資料はデジタルで公開し、活用できるようにしてはどうか。</p> <p>▷ 公開できる資料については、広く公開できるように進めていきたい。</p>
42	文化財調査保護費 (小友評価員)	<p>● 民俗芸能映像記録の活用について</p> <p>▶ 民族芸能の映像記録は、どのように保存されているのか。</p> <p>▷ 令和2年度はコロナにより開催できなかったが、毎年開催している郷土芸能共演会に参加していただいた団体の映像を記録している。記録したものは博物館で保管保存している。</p> <p>▶ 令和2年度、鱒沢しし踊りが遠野遺産に認定されたが、太鼓を叩いていた方が亡くなった。継承するための資料にもなるし、PRなども必要。保存してあるものは活用してもらいたい。</p> <p>▷ 去年の鱒沢しし踊りの件は、資料映像は探してみたが見つからず、大変残念だった。郷土芸能の保存・伝承部分では記録は大事なものなので、引き続き事業は進めていき、記録があることを市内団体にも周知するので活用いただきたい。</p>
44	遠野遺産認定事業費 (小友評価員)	<p>● 遠野遺産の保全に係る財源の確保と積極的紹介・活用について</p> <p>▶ 認定委員会での話し合いの中で、遠野遺産というのは地域の宝であり地域活性化のために活用するものとして、存続していくための新たな組織・ルールを作っていくのはどうかという話が出た。 岩手、日本の宝として市外から支援をしてもらい、SNSなどを活用して、外部からの応援をしてもらってはどうか。 遠野テレビは地域の高齢者の方々に影響力があるので、改めて地元の方に遠野遺産を知ってもらうような放送をしてみてもどうか。 財政難であれば、クラウドファンディングなどを積極的に募集するなど財源を確保しないと、このまま形が残っていないものも出てくるのではないかと。</p> <p>▷ 今まで認定件数を増やすことを目標にしてきたが、今年度から保存活用に対する課題に取り組んできた。地元住民が宝を知ることが重要ではないかということ、市が中心とした情報発信をして交流人口につなげるという意見もでた。今後、各方面と協力しながら情報発信等を進めていきたい。</p> <p>▷ 遠野テレビでは、認定の際には遠野タイムで放送しており、特別番組で遠野遺産の番組も作っている。件数が多いので中々全て放送するのは難しい。文化課とも連携しながら、今後も進めていきたい。</p>
46	遠野物語発刊110周年事業費 (新田評価員)	<p>● 「クイズ遠野ふしぎ発見」の取組について</p> <p>▶ 「クイズ遠野ふしぎ再発見」がとても面白い番組だった。ここで終わるのは勿体ないので、今後も何かアイデアがあれば続けていてはどうか。</p> <p>▷ コロナ禍のため、集客型でなく情報発信型にして行ったものが成功したのかなと思う。次の企画も計画しているので期待してほしい。</p>

評価書 ページ	事業費名 (発言者)	主な意見、質疑等
48	「遠野市史」編さん 事業費 (多田評価員)	<p>● 国内流鏝馬3流派の競演会の開催について</p> <p>▶ 事業内容3の令和9年度のイベント開催について提案だが、流鏝馬3流派の競演会を行ってはどうか。南部流というのは貴重な流鏝馬流派なので、遠野で出来れば日本一のイベントになるし、流鏝馬の聖地として全国に認知されると思う。</p> <p>▷ 遠野は馬産地、流鏝馬の地として有名なので、前向きに検討していきたい。</p>
50	子どもの体力づくり プログラム推進事業 費 (多田評価員)	<p>● 健康スポーツプログラム参加者数の評価について</p> <p>▶ 未達成となっているが、事業内容としては70回開催しているものなので概ね達成でいいのではないかと。参加したい人が参加できている状況が作られているのだから、達成でいいのではないかと。</p> <p>▷ 意見として、今後の参考にしたい。</p>
54	みんなで応援子育て のまち推進事業費 (多田評価員)	<p>● 公設クリニック開設に向けた取り組みについて</p> <p>▶ 市長選候補者の公約に公設の小児科・産婦人科クリニックの整備があった。これが実現できれば、市内外にとって良い事だと思う。それを実現する方法はないものか。</p> <p>▷ 少子化対策として、様々な部分で実現に向けた取組を現在も行っている。産後ケア事業など、地域で安心して生み・育てられる環境を創れるように、県や各政党に要望もしている。そういう環境を創り上げていく中で、広く意見を聴いていく。</p>

